

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	1	1	1	地域福祉	地域福祉の充実
実施計画事業名					
社会福祉協議会補助事業					

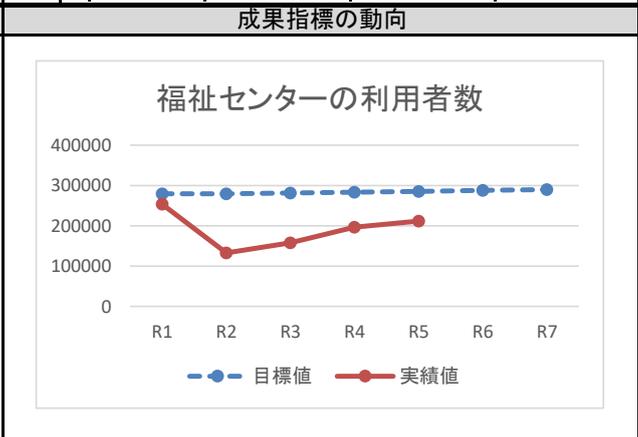
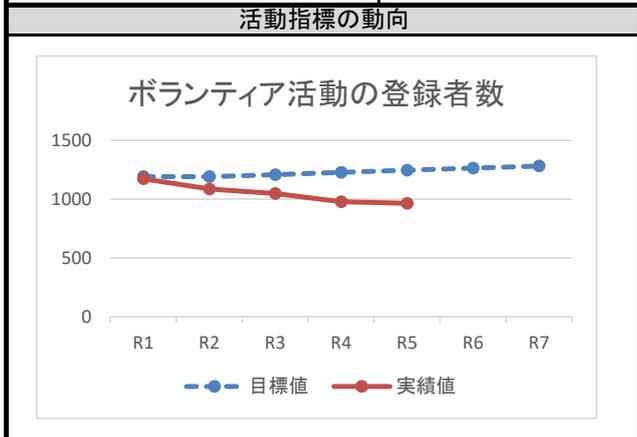
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	01	03	社会福祉協議会補助事業	
担当課・係等					
社会福祉課 地域福祉係					

実施計画整理番号	
201010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市社会福祉協議会の経営基盤の強化を図り地域福祉を推進するとともに、福祉団体を支援して民間福祉活動を推進する。	茂原市社会福祉協議会に補助金を交付する。また、茂原市社会福祉協議会を通じて民間福祉団体に助成金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか) 社会福祉法において地域福祉の中核的団体に位置付けられている社会福祉協議会に補助金を交付し、運営、福祉サービス事業、地域福祉活動推進事業を支援することで、地域福祉の推進を図り、ひいては施策「地域福祉の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	89,935	89,935	79,721						
	国補助	千円									
	県補助	千円	937	937	887						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	88,998	88,998	78,834						
	人工数	人		0.35							
	人件費	千円		2,682							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
地域共生社会を推進するため、市民のボランティア事業に対する理解と関心を深め、ボランティア活動を推進する。	ボランティア活動の登録者数	人	1,227	1,245	1,263	1,281
		実績値	977	968		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
福祉センターを地域福祉の拠点として各種福祉活動を実践する。	福祉センターの利用者数	人	283,590	285,660	287,730	289,800
		実績値	196,485	217,287		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	1	1	1	社会福祉協議会補助事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	03	社会福祉協議会補助事業

整理番号
201010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・茂原市社会福祉協議会に対して補助金を交付して、社会福祉協議会の運営、福祉サービス事業(企画普及事業、相談事業、ボランティアセンター運営事業、在宅福祉サービス事業、後見支援センター事業)、地域福祉活動推進事業(福祉団体助成事業、老人福祉事業、地区社協事業)を支援することで、地域福祉の推進を図った。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・茂原市社会福祉協議会を支援することで、地域福祉の基盤強化、地域福祉の推進、各福祉団体の育成が図られるものであり、一定の成果があったものと認められる。                  ・新型コロナウイルス感染症の5類疾病への移行に伴い、福祉活動や福祉センターの利用がコロナ禍前の状態に戻りつつある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・市と社会福祉協議会は相互に連携を取り地域福祉を推進するものであるため、効果的・効率的に福祉事業が実施できるよう、互いに事業内容を精査し、実施方法を工夫するなどして事業に取り組んでいく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p><b>B</b></p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>茂原市社会福祉協議会への補助を行うことで社会福祉協議会の健全な運営に繋がり、地域福祉の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き、補助金の適正な交付に努めていただくとともに、事業内容及び実施方法の精査に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	1	1	子育て支援
総合的な子育て支援の充実				
実施計画事業名				
母子保健事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業
担当課・係等				
健康管理課 保健センター				

実施計画整理番号	
202010101	
総合戦略整理番号	21101

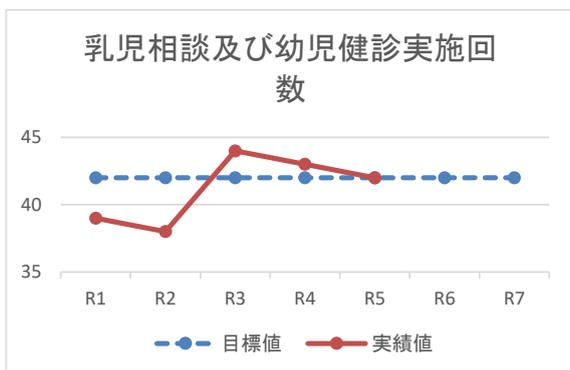
事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>妊娠を望む夫婦から子育て家庭を対象に、安心して妊娠・出産・子育てができるよう切れ目ない支援を行い、子育ての孤立化を予防し、子どもとその保護者が健やかに過ごせることをめざす。</p> <p>また、子どもが心身の健康に関心を持ち、自身のライフプランを描き、生きる力を育むことをめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠を望む夫婦には、特定不妊治療費等の助成を行い、経済的な負担を軽減する。</li> <li>・妊娠中からの相談体制を確立し、育児不安の軽減に努めるとともに、父親の育児への積極的な参加を促す。また、児童虐待防止と児童の健やかな成長のため、各種健診、家庭訪問、健康教育・相談事業を実施する。</li> <li>・子どもが自分の体に関心を持ち、性に関わる行動を主体的に決定できるように、小・中学校を対象に思春期保健教室を行う。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

未来を担う子どもたちの心と体の健やかな育ちに向けて、各種健診、家庭訪問、健康教育・相談事業を実施することは、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

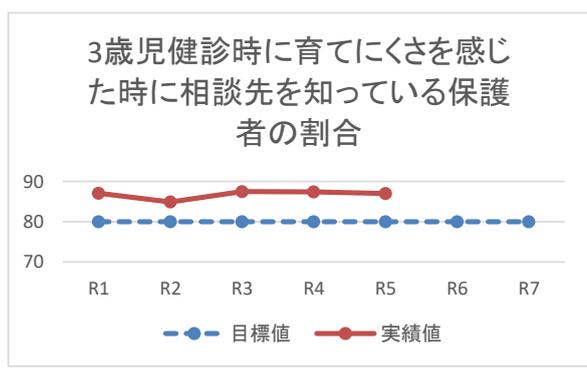
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	77,573	166,839	143,682						
	国補助	千円	3,395	73,361	62,812						
	県補助	千円	1,251	15,336	14,548						
	市債	千円									
	その他	千円	726	726	356						
	一般財源	千円	72,201	77,416	65,966						
	人工数	人	13.2								
	人件費	千円	84,077								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
妊娠届出時から担当保健師を案内し、相談しやすい体制を整え、各種乳幼児健診や相談事業等を行い、保護者の気持ちに寄り添いつつ、子どもの成長・発達に合わせた関わりができるように支援する。	乳児相談及び幼児健診実施回数	回	42	42	42	42
			43	42		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
乳児相談及び各種幼児健診等にて、保護者の気持ちに寄り添いながら相談や保健指導を行い、子どもの成長や発達に合わせた関わりができ、健全な心と体の育成を促す。	すこやか親子21のアンケート調査(3歳児健診時)で「育てにくさを感じたときに相談先を知っている」と回答した保護者の割合	%	80	80	80	80
			87	87		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	母子保健事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010101

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出面接：425件</li> <li>・妊婦健康診査：4481件</li> <li>・乳児健康診査：708件</li> <li>・ママ・パパ教室：299件</li> <li>・乳児家庭全戸訪問数：386件</li> <li>・1歳6か月健診受診者数：450件(98.7%)</li> <li>・3歳児健診受診者数：496件(97.1%)</li> <li>・産後ケア事業：宿泊型:実4件・延28件、日帰り型:実3件・延11件、訪問型:実21件・延83件</li> <li>・育児相談(計測を含む)：延936件</li> <li>・妊娠後期面談：29件</li> <li>・思春期教室：10校(小学校5校・中学校5校) 824人</li> <li>・特定不妊治療費助成：1件(男性不妊検査)</li> </ul>		
	A: 必要性が高い	有効性の評価 A: 有効性が高い	効率性の評価 B: 効率性が認められる
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴走型相談支援として、妊娠届出の助産師等による全数面接に加え、妊娠後期のアンケート及び面談を行うことで、より安心して出産・子育てができるよう支援体制を整えることができた。</li> <li>・ママ・パパ教室では、妊娠期から夫婦で安心して子育てができるように体験型の教室とし、また、先輩ママ・パパとの交流も行うことで子育てのイメージづくりにつながった。前年よりは定員の幅を増やしたが、希望者が出産予定日までに受講できない場合には個別対応し、きめ細やかに対応した。</li> <li>・産後ケア事業の宿泊型・日帰り型については感染症の影響等で委託産科医療機関の受入りに制限があり、希望通りに利用することができないこともあった。訪問型については、希望通りに利用することができ、授乳に関する不安を解消することができた。</li> <li>・思春期教室では、実施までに各学校と打合せを行い、学校ごとの課題となっている内容を取り入れ、自分自身と相手の心と体を大切にすることについて保健指導することができた。課題としては、学校ごとに希望内容が異なるため、統一した内容で思春期教室を実施できないことが挙げられる。</li> </ul>			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭センター設置により、さらに児童福祉と一体化した切れ目のない支援の体制が構築されたので、伴走型相談支援の充実を図り、より身近にこども家庭センターへ相談できるように努める。</li> <li>・産後ケア事業の委託産科医療機関の受入れ制限については、R6年度から委託施設を増やし受入れ枠の拡大を図ったので引き続き関係機関との綿密な連携を図る。</li> <li>・産後ケア事業の訪問型については、産後1年までの利用が可能のため、広報紙やSNS等により更なる利用促進の周知に努める。</li> <li>・思春期教室は、自分を大切に考えられる児童生徒を増やすため、教育委員会等と協議しながら市内の全小中学校で同じレベルの指導が行えるように連携を図る。</li> </ul>	
企画政策課の評価		評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul>	産前産後期の各種支援事業を行ったことで、子育て支援の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き各関係機関と連携を密にするとともに、こども家庭センターを設置することで、さらなる支援の充実に努めていただきたい。

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
乳幼児家庭支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	09	乳幼児家庭支援事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

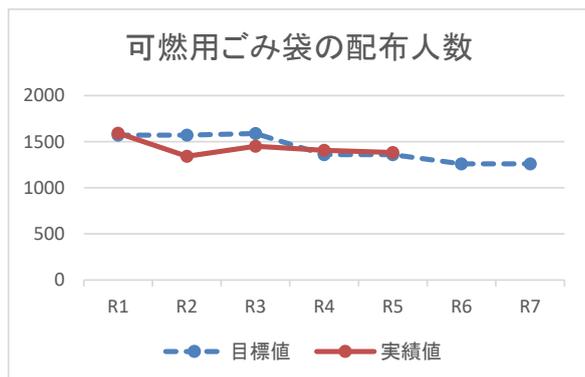
実施計画整理番号	
202010102	
総合戦略整理番号	22302

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	子育て支援策として、子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもを育てやすい環境を整備する。	市内在住の0～3歳未満の子どもを有する子育て世帯に対し、おむつ廃棄用に可燃用ごみ袋を年間50枚無償で配布する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	おむつ廃棄用の可燃用ごみ袋を配付することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

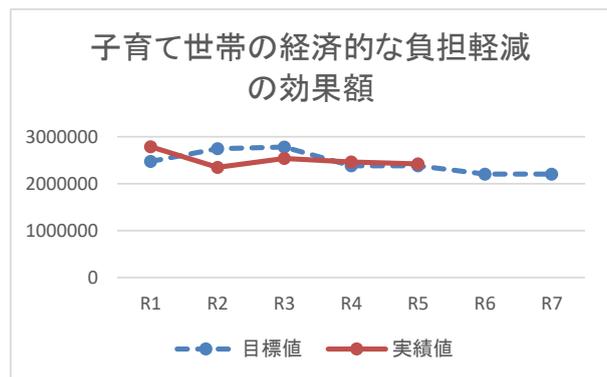
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,246	2,246	2,246						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,246	2,246	2,246						
	人工数	人	0.3								
	人件費	千円	2,299								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
出生届時、1歳6か月健診時、2歳児歯科健診時の機会を活用し、可燃用ごみ袋を配付する。	可燃用ごみ袋の配布人数	人	1,360	1,360	1,260	1,260
		実績値	1,408	1,384		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
おむつの処理に必要な可燃用ごみ袋を配付することで、子育て世帯の負担を軽減できたものと認識している。	子育て世帯の経済的な負担軽減の効果額	円	2,380,000	2,380,000	2,205,000	2,205,000
		実績値	2,464,000	2,422,000		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	乳幼児家庭支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	09	乳幼児家庭支援事業

整理番号
202010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)		
必要性の評価  <b>A: 必要性が高い</b>	有効性の評価  <b>A: 有効性が高い</b>	効率性の評価  <b>A: 効率性が高い</b>
総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつの処理等に必要可燃用ごみ袋を配付することで、子育て世帯の経済的負担を軽減できたものと認識している。</li> <li>・可燃用ごみ袋は20ℓを配付しているが、他のサイズへの変更や配付枚数について、検討する必要がある。</li> </ul>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
<b>A: 計画どおり事業を進めることが適当</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の経済的負担の軽減に効果があることから、継続して事業を進めていく。</li> <li>・サイズや配付枚数については、利用者ニーズを的確に把握し検討する必要がある。</li> </ul>	
企画政策課の評価	評価理由
<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">A</div> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	可燃用ごみ袋の配布により子育て世帯の経済的な負担軽減に繋がったと認められる。引き続き、利用者ニーズの把握に努めていただき、過不足のない事業実施に努めていただきたい。

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
おめでとう赤ちゃんセット配布事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	11	おめでとう赤ちゃんセット配布事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010103	
総合戦略整理番号	22303

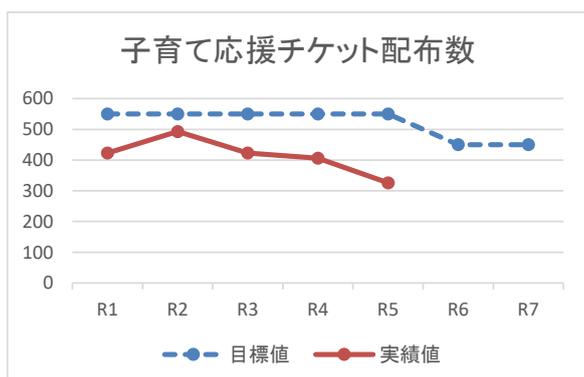
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>出生届を提出した世帯に対し、子育て応援チケットを配布し、出生をお祝いするとともに子育て世帯の経済的負担を軽減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て応援チケットの配布</li> <li>子育て応援チケット協賛店の拡大</li> <li>子育て応援チケットの利用促進</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

子育て応援チケットを配布することで子育て世帯の経済的負担を軽減することができ、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

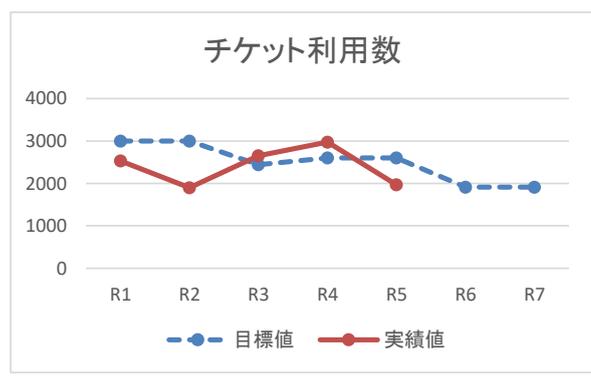
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,467	2,467	2,058						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,467	2,467	2,058						
	人工数	人	0.2								
	人件費	千円	1,533								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
出生届時等に「おめでとう赤ちゃんセット」を配布する。	子育て応援チケット配布数	部	目標値 550	550	450	450
			実績値 406	326		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
配布したチケットを市内の登録店舗で使用することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。	チケット利用数(協賛店から市への換金数)	枚	目標値 2,601	2,601	1,914	1,914
			実績値 2,975	1,967		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	おめでとう赤ちゃんセット配布事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	11	おめでとう赤ちゃんセット配布事業

整理番号
202010103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生届の届出時等に子育て応援チケットを326部配付した。</li> <li>・子育て応援チケット協賛店は、令和5年度末では117店舗となった。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>A: 必要性が高い</b>	<b>A: 有効性が高い</b>	<b>A: 効率性が高い</b>
	総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生届の届出時等に配付することで、効率的に行うことができた。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	<b>A: 計画どおり事業を進めることが適当</b>		<b>①業務の整理・統合・集約化</b>	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配付方法は、現在の方法を継続する。</li> <li>・市民の利便性向上のため、市公式ウェブサイト等を活用し募集を周知することで、取扱店舗の増加を図る。</li> <li>・現在5,000円分の子育て応援チケットを配布しているが、子育て世帯の支援のため、金額の増額を検討する。</li> </ul>			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul>	出生届提出時に配布を行う方法は効率的であると考えられる。引き続き、配布を行うとともに、取扱店舗の増加のための効率的な周知方法について検討していただきたい。		

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
<b>ファミリーサポートセンター事業</b>					

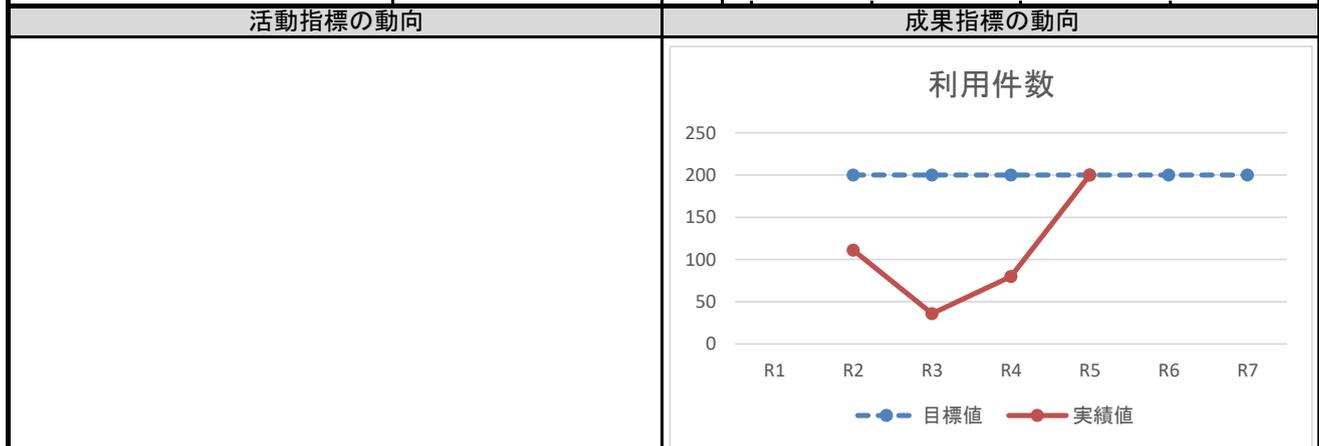
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	12	ファミリーサポートセンター事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010104	
総合戦略整理番号	22304

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
事務事業の概要 (PLAN)	<p>地域社会において、子育てに関し援助を受けたい方(依頼会員)と援助を行いたい方(提供会員)との橋渡しを行い、地域全体で子育てを支えあうようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる周知・広報を行い、会員確保に努める</li> <li>・入会説明会・基礎研修会の実施</li> <li>・利用料の助成</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>ファミリー・サポート・センター事業を行うことで、地域全体で子育てを多面的に見守る体制づくりに努め、ひいては、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	596	596	440						
	国補助	千円	198	198	198						
	県補助	千円	198	198	152						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	200	200	90						
	人工数	人	0.4								
	人件費	千円	2,272								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
出生時や転入時等に事業の周知を行う。			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			200	200	200	200
会員数の増加によるマッチング件数の増加により、地域全体で子育てを支え合うようにする。	利用件数	人	実績値	80	200	



## 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	ファミリーサポートセンター事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	12	ファミリーサポートセンター事業

整理番号
202010104

課題抽出 (CHECK)

### 活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・令和5年度から直営で事業を実施し、市公式ウェブサイトの活用やチラシの配布等により制度の周知に努めた。
- ・入会説明会については、17回開催した。また、状況を考慮し個別に入会説明を行うなど柔軟に対応した。
- ・提供会員に対する基礎研修会を1回開催した。
- ・令和5年度末で、登録会員は提供会員23名、依頼会員104名、両方会員2名であり、活動件数は200件であった。□

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
<b>A: 必要性が高い</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>A: 効率性が高い</b>

総合評価
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>

### 分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・依頼会員は増加しており活動のニーズは高まっているが、そのニーズに対応する提供会員が不足している。
- ・活動件数自体は増加しているが、一定の提供会員で対応しているため、負担が大きくなっている。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>

### 課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・依頼会員のニーズに応えるための提供会員の確保が必要である。
- ・広報もばら、市公式ウェブサイトでの周知は行っているが、より効果的な周知方法を検討する。

企画政策課の評価	評価理由
<b>B</b>	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>マッチング件数は年々増加しており、子育て支援の充実に一定の成果があったと認められる。提供会員の確保のため、ニーズに即した効果的な周知方法の検討に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
<b>子ども医療費助成事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	12	子ども医療費助成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010105	
総合戦略整理番号	22305

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
市内在住の中学3年生までの子ども医療費(保険診療分)を助成し、安心して子育てができる環境の形成に資する。	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市内在住の中学3年生までの子ども医療費(保険診療分)を助成し、安心して子育てができる環境の形成に資することができ、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	216,848	258,288	253,225						
	国補助	千円									
	県補助	千円	63,243	79,174	75,712						
	市債	千円									
	その他	千円	21,124	21,124	19,244						
	一般財源	千円	132,481	157,990	158,269						
	人工数	人	0.5								
	人件費	千円	3,832								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
出生時や転入時等に子ども医療費助成について周知する。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
医療費の償還払い請求に対する支給事務、審査支払機関への支出を適正に行うことで、市民が安心して子育てができるようにする。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	子ども医療費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	12	子ども医療費助成事業

整理番号
202010105

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども医療費助成制度における新規申請等の処理、8月の更新作業等の受給券発行について、適切に処理を行った。</li> <li>・国保連及び社会保険診療報酬支払基金等への支払いのほか、過誤分について適切に処理を行った。</li> <li>・受給券の発行について、ひとり親家庭等医療費等助成制度との調整を行った。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>A: 必要性が高い</b>	<b>A: 有効性が高い</b>	<b>A: 効率性が高い</b>
	総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども医療費助成受給券を交付することで、医療機関等での窓口負担が軽減され、経済的な支援を行うことができた。</li> <li>・医療費助成申請時及び8月の受給券の一斉更新時に住民税の未申告者がいると発行、更新ができないため、申告を勧奨し未発行者を減らすことが課題となっている。</li> </ul>			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>A: 計画どおり事業を進めることが適当</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未申告により、受給券が発行できていない方については、市民税課と協力し把握に努め、申告勧奨し受給券を発行する。</li> <li>・子ども医療費助成(8月から7月)とひとり親家庭等医療費等助成(11月から10月)の期間が異なることから、課税状況や助成状況を確認し、受給者が不利にならないように調整を図る。</li> <li>・子ども医療費制度の案内に適正受診やジェネリック医薬品の利用等を掲載し、医療費の増加を抑制するための周知を図る。</li> </ul>	
	企画政策課の評価	評価理由
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul> 子ども医療費の助成について適正な処理がなされ、子育て支援の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援を遅滞なく行っていただきたい。	

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
<b>高校生等医療費助成事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	16	高校生等医療費助成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010106	
総合戦略整理番号	22306

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>市内在住の高校生等への医療費(保険診療分)を助成し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。</p>	<p>高校生等が医療機関を受診し支払った医療費(保険診療分)を償還払いにより助成する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>市内在住の高校生等までの医療費(保険診療分)を助成し、安心して子育てできる環境の形成に資することができ、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。</p>		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	18,441	18,441	14,733						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	18,441	18,441	14,733						
	人工数	人	0.3								
	人件費	千円	2,299								

手段(DO)	活動指標	単位	年度					
			4年度	5年度	6年度	7年度		
高校生等医療費助成について周知する。			目標値					
			実績値					
				目標値				
				実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度		
医療費の償還払いに対する支給事務を適正に行うことで、市民が安心して子育てできるようにする。			目標値					
			実績値					
活動指標の動向			成果指標の動向					

## 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	高校生等医療費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	16	高校生等医療費助成事業

整理番号
202010106

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>令和5年4月 助成対象となる高校生等の保護者に対して個別に通知し、制度の周知を行った。                      令和5年5月 申請受付を開始                      令和6年2月 3月末で現物給付が終わる中学3年生の保護者に対して、中学校を通じ文書を配付して制度の周知を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>令和5年4月に個別に通知を行ったことで周知が図れた。制度が周知されるとともに申請数も増加しており、高校生等のいる世帯への負担軽減に繋がっていると考えられる。                      しかしながら、償還方式のため、申請、領収証の内容の確認、支給等の事務量が多い。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>高校生等への医療費助成を開始したことで、子育て世帯の負担の軽減は図れたが、県内自治体の実施状況や申請忘れや償還に係る事務量を考慮すると、子ども医療費助成と同様に現物給付を行うことが望ましい。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当                      B: 事業改善の検討が必要                      C: 事業の休止・廃止の検討が必要                      D: 事業終了が適当</p> <p>高校生等までの医療費助成を行うことで、子育て支援の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き制度の周知を図るとともに、更なる利便性向上のため、現物給付に向けた要望等の活動に努めていただきたい。</p>	

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
<b>子育て支援事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	04	01	06	子育て支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 学務係					

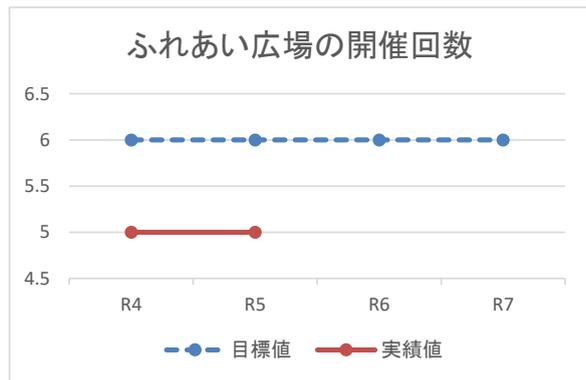
実施計画整理番号	
202010107	
総合戦略整理番号	22202

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>幼児期の子どもを持つ保護者の子育てに関する悩みやストレスを軽減させ、家庭教育を充実させる。</p>	<p>地域における子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりを推進する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>開かれた幼稚園づくりを推進することで、幼児期の子どもを持つ保護者の子育てに関する悩みやストレスの軽減を図り、ひいては施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。</p>	

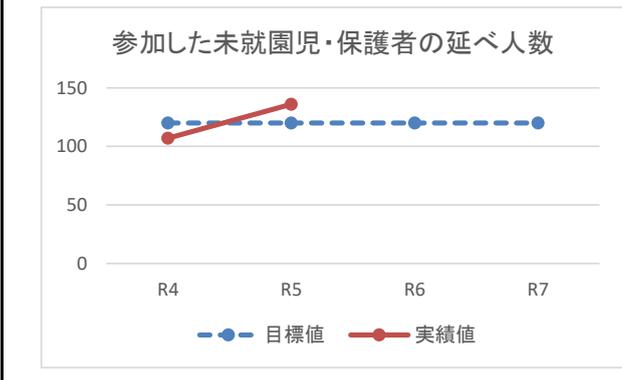
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	40	40	38						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	40	40	38						
	人工数	人		—							
	人件費	千円		—							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
開かれた幼稚園づくりを推進する。	ふれあい広場の開催回数	回	目標値 6	6	6	6
			実績値 5	5		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
未就園児及び保護者のための遊び場や保護者同士の交流の場を提供することで子育てに関する悩みやストレスが軽減されることを目指す。	参加した未就園児・保護者の延べ人数	人	目標値 120	120	120	120
			実績値 107	136		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	子育て支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	04	01	06	子育て支援事業

整理番号
202010107

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>公立幼稚園において遊具やおもちゃで遊んだり、人形劇などを実施した。</li> <li>公立幼稚園において、未就園児のための遊び場や保護者同士の交流の場を提供することができた。</li> </ul>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
未就園児及び保護者のための交流の場の提供と家庭教育に関する悩みの解消に一定の成果があったと思われる。		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き、家庭教育の充実に努めるとともに、効果的な周知を図る。	
企画政策課の評価	評価理由
<p><b>A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul>	ふれあい広場等、開かれた幼稚園づくりの推進に係る事業推進により、家庭教育の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き事業の推進に努めるとともに、効果的な周知方法について検討していただきたい。

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
病児・病後児保育事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	05	病児・病後児保育事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202020101	
総合戦略整理番号	22307

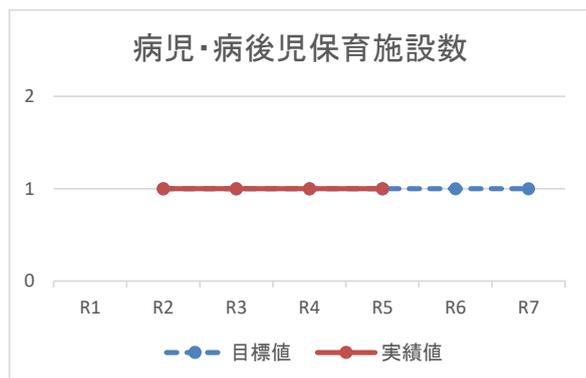
事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>病気回復期に至らないが当面の症状の急変が認められない児童及び病気回復期にある児童で、保育所・幼稚園等での集団生活が困難な市内に居住する生後6か月から小学校3年生までの児童を保護者が就労や傷病等で保育することが困難な場合に、医療機関に併設した専用保育施設で一時預かることで、子育てにおける負担を軽減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の安定的な実施のため、適正に業務委託を実施する。</li> <li>・利用促進を図るため、制度の周知に努める。</li> <li>・利用者の更なる利便性向上のため、市内での事業実施を検討する。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

児童を保護者が就労や傷病等で保育することが困難な場合に、医療機関に併設した専用保育施設で一時預かることで保護者の就労等の支援を図り、施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。

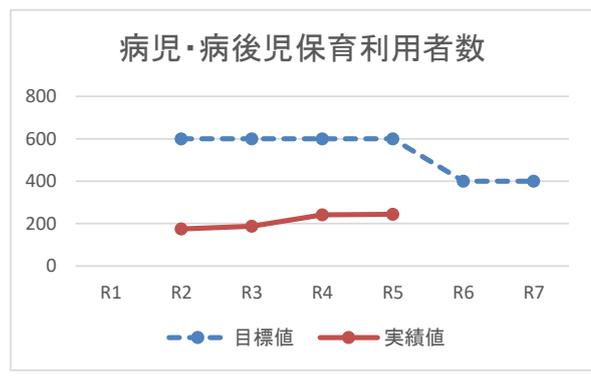
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,597	2,597	2,597						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,597	2,597	2,597						
	人工数	人	0.3								
	人件費	千円	2,299								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<p>・事業について近隣町村と協定を締結した。</p> <p>・白子町酒井医院での病児保育事業を支援するとともに、制度周知及び利便性向上に努める。</p>	病児・病後児保育施設数	か所	1	1	1	1
		目標値	1	1		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<p>事業実施により子育てにおける負担を軽減させる。</p>	病児・病後児保育利用者数	人	600	600	400	400
		目標値	242	244		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	1	病児・病後児保育事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	05	病児・病後児保育事業

整理番号
202020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・白子町の酒井医院にて、茂原市、白子町、一宮町、長生村の4市町村で協定に基づき、委託料を負担し実施した。                      ・事業に関して「もばらで子育てガイドブック」や学童クラブ利用案内に掲載し周知を図った。                      ・長生郡市内で実施している医療機関が1か所であることから、長生郡市内の市町村担当者で実施医療機関の拡充に向けた担当者会議を実施した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・委託料の負担割合について協定を締結していることで、利用料の軽減が図れた。                      ・利用人数は前年とほぼ変わらなかった。                      ・長生郡市内では、酒井医院のみで実施していることから、実施場所を増やす必要がある。そのためには、実施する場所の整備、従事する医師、看護師、保育士の確保が課題となっている。令和5年度には担当者レベルの会議を行ったが、継続して協議することが必要である。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>・新たな実施場所については、茂原市内での実施が求められているが、長生郡市内の利用希望者の受入れのためには、茂原市単独で実施するのではなく、広域的に事業を実施するよう検討していく。</p>			
	企画政策課の評価		評価理由	
<p><b>A</b></p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当                      B: 事業改善の検討が必要                      C: 事業の休止・廃止の検討が必要                      D: 事業終了が適当</p>		<p>病児・病後児保育の利用により子育て支援の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き適正に委託を行うとともに、実施医療機関の増加に向けて協議を図っていただきたい。</p>		

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
認可外保育所運営支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業	
担当課・係等					
子育て支援課 保育係					

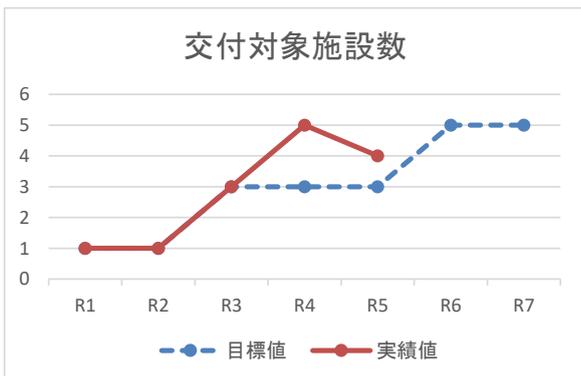
実施計画整理番号	202020102
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	認可外保育施設の健全な運営を促進し、入所児童の処遇の向上を図る。	認可外保育施設設置者に対し、その入所児童の健康診断に要する経費の一部について補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
入所児童の健康診断を支援し、認可外保育施設の健全な運営を促進することで施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。		

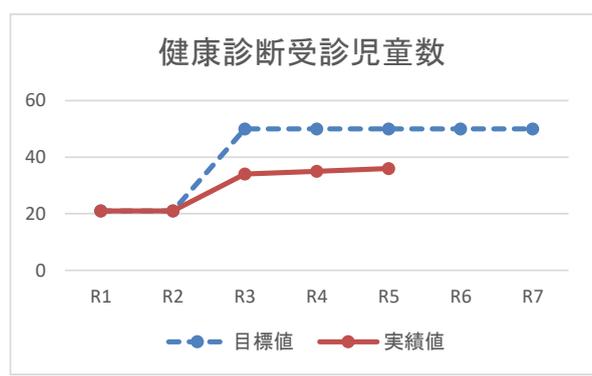
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	672	672	172						
	国補助	千円									
	県補助	千円	224	224	57						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	448	448	115						
	人工数	人		0.1							
	人件費	千円		767							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
認可外保育施設に対し、入所児童の健康診断に要した費用について、96,000円を上限として補助金を交付する。	交付対象施設数	件	3	3	5	5
		実績値	5	4		
成果	成果指標	名	50	50	50	50
		実績値	35	36		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	1	認可外保育所運営支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業

整理番号
202020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	認可外保育施設に対して、入所児童の健康診断等に要した費用について、補助金を交付した(認可外保育施設入所児童処遇向上事業補助金)。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可外保育施設に通所する児童の処遇の向上が図られたものと考えられる。</li> <li>・交付対象となる認可外保育施設を確実に把握する必要がある。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	県の施設監査時や予算要求時に、条件となる「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」の交付を受けた施設が増えていないか等、対象となる施設の把握に努める。	
企画政策課の評価		評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	補助金の交付により認可外保育施設の健全な運営に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な補助金の交付及び対象施設の把握に努めていただきたい。

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
<b>民間保育士処遇改善事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業	
担当課・係等					
子育て支援課 保育係					

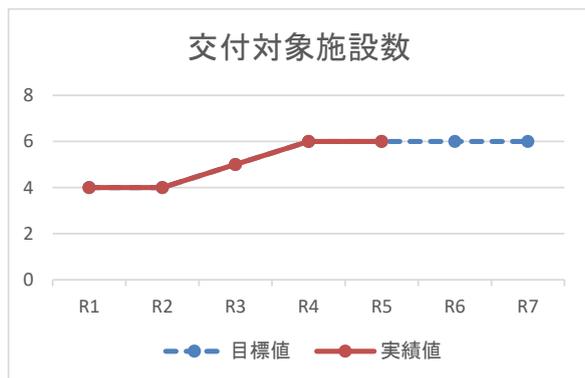
実施計画整理番号	
202020104	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	民間保育所等の保育士の確保・定着を推進することで、児童の受入枠を確保し、茂原市の待機児童の早期解消及び保育環境の改善を図る。	千葉県が行う「千葉県保育士処遇改善事業」を活用し、民間保育所等の保育士1名につき月額2万円の処遇(給与)改善を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	保育士の処遇(給与)改善を支援し、民間保育所等の保育士の確保・定着を推進することで施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。	

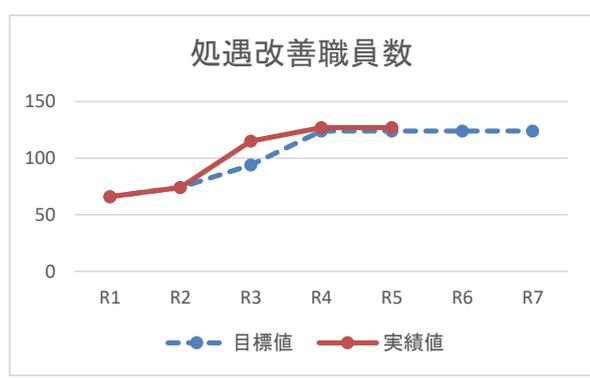
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	33,600	33,600	27,820						
	国補助	千円									
	県補助	千円	16,800	16,800	13,909						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	16,800	16,800	13,911						
	人工数	人	0.15								
	人件費	千円	1,150								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
私立保育所、認定こども園、小規模保育事業者等へ補助金を交付する。	交付対象施設数	件	6	6	6	6
		実績値	6	6		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
民間保育士の確保・定着を図ることで、待機児童ゼロ及び保育環境の改善につなげる。	処遇改善職員数	名	124	124	124	124
		実績値	127	127		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	1	民間保育士処遇改善事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業

整理番号
202020104

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	私立保育園、認定こども園、小規模保育事業施設に対し補助金を交付し、当該施設の保育士の賃金改善を支援した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
概ね順調に業務を遂行できているが、次年度以降も待機児童を発生させないよう、更なる保育環境の向上を図る必要がある。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	引き続き、保育士の確保・定着の推進のため、処遇改善を実施していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 補助金の交付により、保育士の確保・定着に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な補助金の交付に努めていただきたい。	

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	2	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
放課後児童健全育成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	03	放課後児童健全育成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

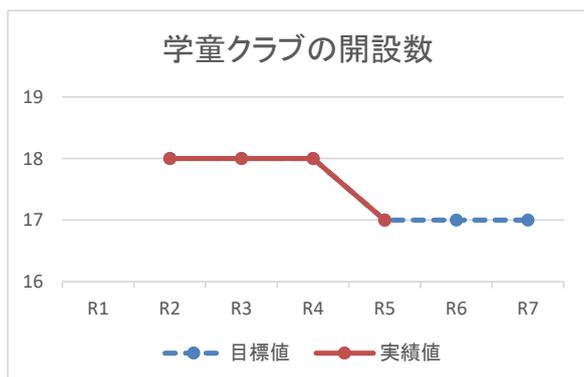
実施計画整理番号	
202020201	
総合戦略整理番号	22308

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し適切な遊びや生活の場を与え健全な育成を図る。	放課後の居場所づくりを行い、遊びや生活の場を与える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し適切な遊びや生活の場を与え健全な育成を図ることで、施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。	

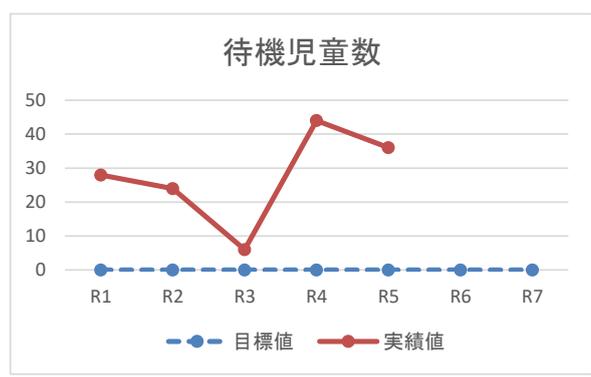
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	150,991	150,991	145,246						
	国補助	千円	39,151	39,151	45,834						
	県補助	千円	24,621	24,621	21,169						
	市債	千円	34,100	34,100	29,500						
	その他	千円	21,454	21,454	22,810						
	一般財源	千円	31,665	31,665	25,933						
	人工数	人	1.4								
	人件費	千円	9,140								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学童クラブの開設数を増やし、受入できる児童数を増やす。	学童クラブの開設数(届出のある学童クラブ)	か所	18	17	17	17
		実績値	18	17		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
受入できる児童数を増加させることで、待機児童の解消につなげる。	待機児童数	人	0	0	0	0
		実績値	44	36		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	放課後児童健全育成事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	03	放課後児童健全育成事業

整理番号
202020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年: 公設学童クラブの運営管理及び施設等の修繕、民設学童クラブへの補助</li> <li>・通年: 新型コロナウイルス感染症への対応(補助金の交付、施設の修繕)</li> <li>・待機児童対策のための萩原小学校区への建物の新設工事</li> <li>・物価高騰に対する運営費の補助</li> <li>・6~9月 夏期学童クラブの運営管理</li> <li>・12月~ 令和6年度の利用調整</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>A: 必要性が高い</b>	<b>A: 有効性が高い</b>	<b>A: 効率性が高い</b>
	総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の多い小学校区で待機児童が発生していることから、その解消が急務である。</li> <li>・公設学童クラブと民設学童クラブでの利用料や運営の格差があることから、是正していくことが課題となっている。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>A: 計画どおり事業を進めることが適当</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童が見込まれる小学校区については、今後の児童数の推移から、学校施設の活用により実施場所を確保し、待機児童の解消に努めていく。</li> <li>・待機児童の発生を抑制するため、放課後の児童の過ごし方について、教育委員会所管事業の「放課後子ども教室」とも連携を図っていく。</li> <li>・公設学童クラブと民設学童クラブの格差の是正については、民設学童クラブへの補助金の増額、公設学童クラブの利用料の見直しを検討する。</li> </ul>	
	企画政策課の評価	評価理由
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul> 学童クラブの管理運営により、小学生の健全な育成に一定の成果があったと認められる。引き続き、現状の把握に基づいた管理運営に努めていただきたい。	

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	3	1	子育て支援
実施計画事業名				
ひとり親家庭福祉事業(高等職業訓練促進給付金)				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	03	01	ひとり親家庭福祉事業
担当課・係等				
子育て支援課 支援係				

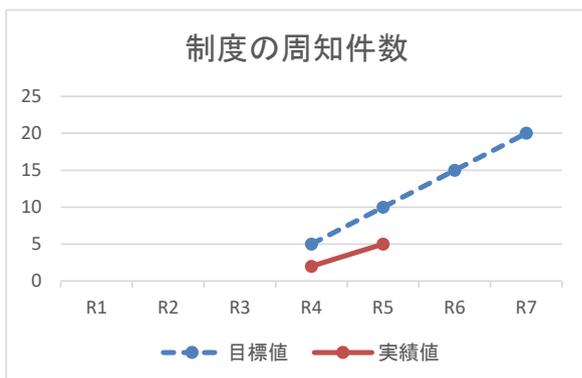
実施計画整理番号
202030101
総合戦略 整理番号

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	ひとり親に対して、就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の所得を促進するための給付金を支給することで、修業期間中の生活不安を解消し安定した修業環境を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等職業訓練促進給付金及び高等職業訓練修了支援給付金の2種類の給付金を支給する。</li> <li>・児童扶養手当新規認定時及び現況届受付時に制度について周知する。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の取得を促進するための給付金の支給により、生活の安定を図ることで、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。	

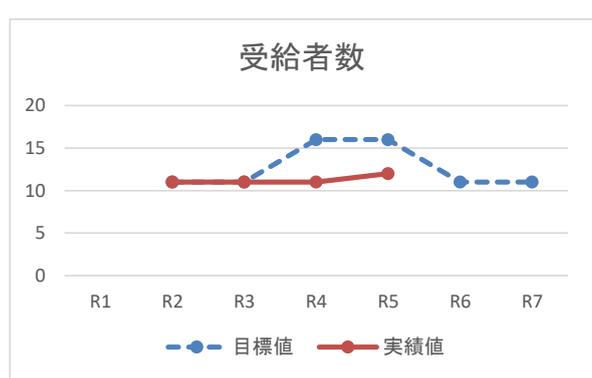
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	8,956	9,289	9,125						
財源内訳	国補助	千円	6,717	6,966	6,843						
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,239	2,323	2,282						
	人工数	人	0.5								
	人件費	千円	3,832								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
児童扶養手当新規認定及び現況届受付の際の制度の周知を図る。	制度の周知件数	件	5	10	15	20
		実績値	2	5		
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
ひとり親世帯等に対し、給付金を支給することで、修業期間中の生活の安定を図る。	受給者数	人	16	16	11	11
		実績値	11	12		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	1	ひとり親家庭福祉事業(高等職業訓練促進給付金)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	03	01	ひとり親家庭福祉事業

整理番号
202030101

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・児童扶養手当の認定請求時、現況届出時等にこの給付金のほか、ひとり親世帯等への支援の制度について、周知を行った。</p> <p>・支給については、毎月の受講状況を確認し支給する。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>A: 必要性が高い</b>	<b>A: 有効性が高い</b>	<b>A: 効率性が高い</b>
	総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・受講期間が2年程と比較的長いため、実際に給付金を活用する場合は、仕事を辞めて学校に通うこととなるため、新規の利用者は少ない。</p> <p>・受講方法がリモートになるなど出席を要しない場合もあるので、適切な支給のため受講状況の把握に努める。</p>			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>A: 計画どおり事業を進めることが適当</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・児童扶養手当の手続時等の機会を活用し、制度の周知に努める。</p> <p>・給付金を受給するためには、毎月決められた期限内に申請及び請求を行うこととなるため、申請や請求忘れがないよう、定期的に連絡するなど丁寧な対応を行う。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p>	<p>受給者が一定数いることから、ひとり親の生活支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な給付に努めていただくとともに、リモート等時代の変化に柔軟に対応していただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	3	2	子育て支援
配慮を必要とする子どもや家庭への支援				
実施計画事業名				
軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	15	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業
担当課・係等				
障害福祉課 支援給付係				

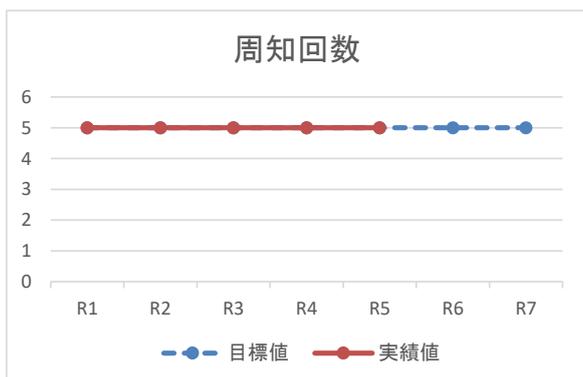
実施計画整理番号	
202030201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児に対して、補聴器購入に要する費用の2/3(県1/3、市1/3、耐用年数5年)を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童における言語能力、学力の向上及び日常生活の快適化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・市公式ウェブサイト等により制度の積極的周知を図る。</li> <li>・対象児の保護者に対し、補聴器購入費を助成する。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児に対して補聴器購入費用の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減及び児童の言語能力、学力の向上等を図ることで、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。	

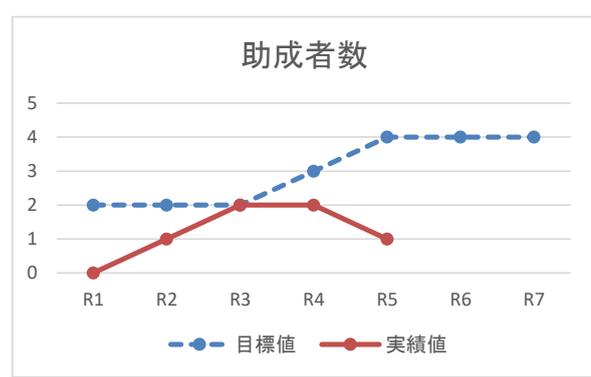
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	288	288	72						
	国補助	千円									
	県補助	千円	144	144	36						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	144	144	36						
	人工数	人		0.03							
	人件費	千円		230							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
補聴器購入費助成制度利用促進のため、積極的な周知に努める。	周知回数	回	5	5	5	5
		実績値	5	5		
成果	成果指標	人	3	4	4	4
		実績値	2	1		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	2	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	15	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

整理番号
202030201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対して補聴器購入に要する費用を助成することで、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童における言語能力、学力の向上及び日常生活の快適化を図ることができた。また、以下による周知を図ることで1名から申請があり、助成を行った。</li> <li>・市公式ウェブサイトおよび窓口配布している「障害者福祉の手引き」に事業内容を掲載</li> <li>・広報もばらへ制度について掲載</li> <li>・大網特別支援学校へ啓発案内文を配布</li> <li>・長生郡市内の耳鼻咽喉科を持つ医療機関に啓発案内文を配置</li> </ul>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
C: 成果を挙げるができなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知により、助成者数は伸びてきていたが、令和5年度は1名の助成にとどまった。</li> <li>・周知方法を検討し、事業の理解促進に努める。</li> </ul>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き、広報もばらや市公式ウェブサイト等へ掲載することで周知に努めるとともに、より効果的な周知方法を検討し、利用促進を図る。	
企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	周知について、遅滞なく行っているものと思われるが、助成者数の減少がみられるため、時代に即した効率的な周知方法の検討に努めていただきたい。

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	2	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
療育支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	08	療育支援事業	
担当課・係等					
子育て支援課 子ども家庭相談室					

実施計画整理番号	
202030202	
総合戦略 整理番号	

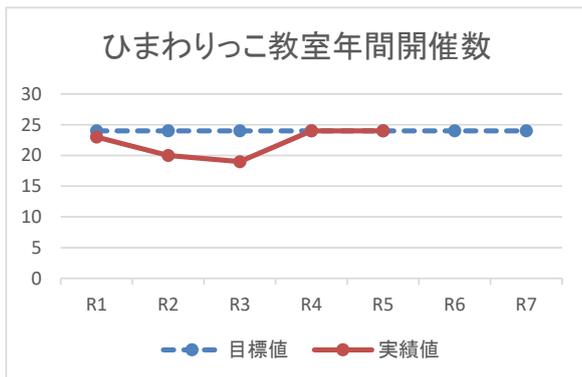
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>発達の遅れのある、または心配される幼児の健やかな成長及び保護者の育児不安の解消により、適切な子育て環境が整えられるよう支援を図る。</p>	<p>月2回、ひまわりっこ教室を実施し、親子のふれあいや遊びを通じ、保護者の思いを聞きながら、相談や情報提供を行う。また、予約制による「ことばの相談」や「子育て相談」を実施し、個別相談支援を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

発達の気になる子どもに対して、その特性を早期に発見し、適切な支援につなげ、育てにくさを感じている保護者のストレスを緩和することにより、児童虐待の防止につながり、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。

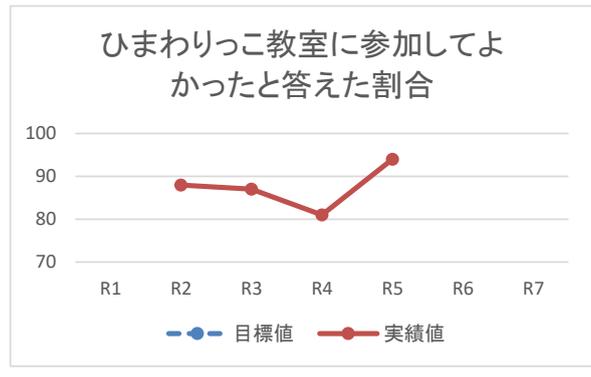
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	2,119	2,119	2,028						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,119	2,119	2,028						
人工数	人		0.25								
人件費	千円		1,916								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
保健センターの幼児健診や赤ちゃん訪問事業等を通じて、発達の遅れや軽度の発達障害が心配されるお子さんを把握し、積極的に本事業を紹介する。	ひまわりっこ教室年間開催数	回	目標値 24	24	24	24
		実績値 24	24			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
対象児童が、継続して事業に参加することにより、良好な育成及び保護者の育児不安の解消につなげる。	ひまわりっこ教室参加者アンケートで「参加してよかった」と回答した割合(10段階中7以上)	%	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値 81	94			

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	2	療育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	08	療育支援事業

整理番号
202030202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
課 題 抽 出  ( C H E C K )	<p>(ひまわりっこ教室)                      幼児健診等で発達の遅れが心配される児童を対象に、発達を促す遊び等、保護者と子どもが楽しく遊ぶことで育児不安や育児ストレスの緩和につなげた。                      年24回 参加者60人(延べ参加者419人)                      (子育て相談)                      子育てやしつけ、発達などに心配を抱える保護者の不安の解消のため、臨床心理士による相談を行った。                      年21回 参加者48人(延べ参加者77人)                      (ことばの相談)                      ことばが遅い、うまく発音ができないなどの心配を抱える保護者の支援として言語相談員による相談を実施した。                      年29回 参加者68人(延べ参加者125人)</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
	総合評価		
	<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>発達に障害があることを受け入れられない保護者に対しては、事業へ参加することの有効性を理解してもらうことが重要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
今 後 の 方 向 性  ( A C T I O N )	<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>ひまわりっこ教室では、幼児健診等で発達の遅れや障がい心配される児童を対象に、月2回開催し、親子の触れ合いや遊びを通じて、保護者の思いに傾聴しながら相談や情報提供を実施する。予約制にて子育て相談やことばの相談を個別に行い、子育てやしつけ、発達等に心配を抱える保護者の不安の解消に努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	<b>A</b>	<p>A: 計画どおり事業継続が                      適当                      B: 事業改善の検討が必要                      C: 事業の休止・廃止の検討が必要                      D: 事業終了が適当</p> <p>ひまわりっこ教室等、各種機会の提供により、保護者の育児不安の解消に一定の成果があったと認められる。引き続き事業の運営と積極的な周知に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	2	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
<b>養育支援訪問事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	10	養育支援訪問事業	
担当課・係等					
子育て支援課 子ども家庭相談室					

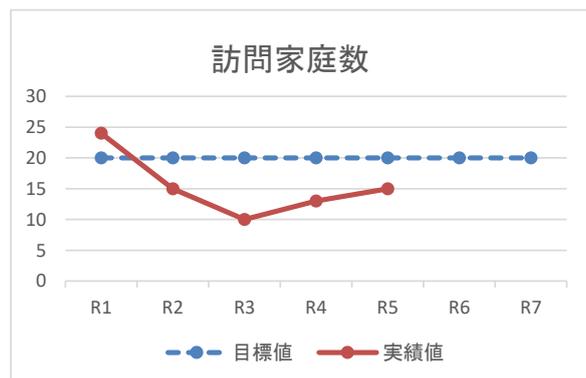
実施計画整理番号	
202030203	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>養育支援が特に必要な家庭に対して、その家庭を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、適切な児童の養育ができるように支援する。</p>	<p>対象となる家庭に対して、開始前と終了時に関係機関と個別の支援会議を開催し、適切な支援が行えるように努める。また、適切な養育指導の実施のため、訪問支援員へ研修を行い、技能の向上を図る。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>保健センターの幼児健診や赤ちゃん訪問事業により把握した保護者への養育支援が特に必要と思われる家庭に対して、保健師・看護師・保育士が家庭を訪問し、養育に関する相談、指導、助言を行うことにより、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭の養育環境を改善することで、児童虐待の防止につながり、ひいては施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。</p>	

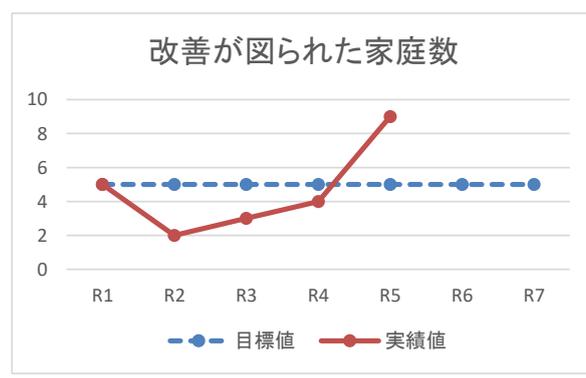
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,321	1,321	732						
	国補助	千円	440	440	243						
	県補助	千円	440	440	243						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	441	441	246						
	人工数	人	0.3								
	人件費	千円	2,299								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
関係機関や市保健センターの健診等を通じて養育支援が必要な家庭を把握し、適切な支援の実施に努める。	訪問家庭数	件	目標値 20	20	20	20
		実績値 13	15			
	延べ訪問回数	回	目標値 200	200	200	200
		実績値 123	183			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
養育支援が必要な家庭の養育環境を改善することで、児童虐待の防止につなげる。	改善が図られた家庭数	件	目標値 5	5	5	5
		実績値 4	9			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	2	養育支援訪問事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	10	養育支援訪問事業

整理番号
202030203

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>赤ちゃん訪問事業の実施結果や関係機関からの連絡等により、育児不安が強い、育児手技が未熟などにより支援が必要であると判断した家庭に対し、専門的相談支援や家事・育児支援を実施した。実施するにあたり関係機関でケース会議を開催し、目標や支援内容について関係機関で協議を行い、必要に応じて他の支援機関へとつなげた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>関係機関からの情報提供により、積極的に支援が必要と判断される家庭に対しては、訪問での指導や助言を行ったことにより、虐待防止につながった。次年度より、対象家庭と子育てを困難にしている課題について共有し、サポートプランを作成することで、より適切に養育できるように支援していく。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>今後も関係機関と連携し、支援が必要な家庭の早期発見に努め、適切な支援を行う。また、対象家庭にわかりやすいサポートプランを手交していく。</p>			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul>	<p>本事業により、対象家庭の養育環境の改善に一定の成果があったと認められる。引き続き適切な支援に努めていただきたい。</p>		

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	1	1	高齢者福祉	高齢者福祉の充実
実施計画事業名					
<b>福祉・介護人材確保対策事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	07	福祉・介護人材確保対策事業	
担当課・係等					
高齢者支援課 管理係					

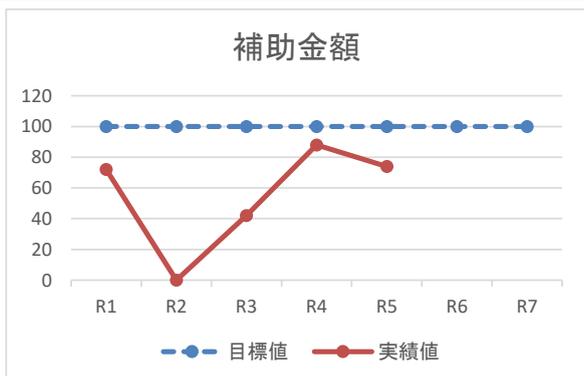
実施計画整理番号	
203010101	
総合戦略整理番号	31201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	初任者研修を修了した介護職員の研修費を助成し、介護職員として就職する人材を増やすことで、安定した介護サービスが受けられるようにする。	初任者研修を修了した介護職員の研修費を助成する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	高齢化の進展に伴う要介護者・要支援者等の増加により、介護サービスの担い手となる介護人材の確保、定着を促進することで、安定した介護サービスの供給を図り、施策「高齢者福祉の充実」に寄与する。	

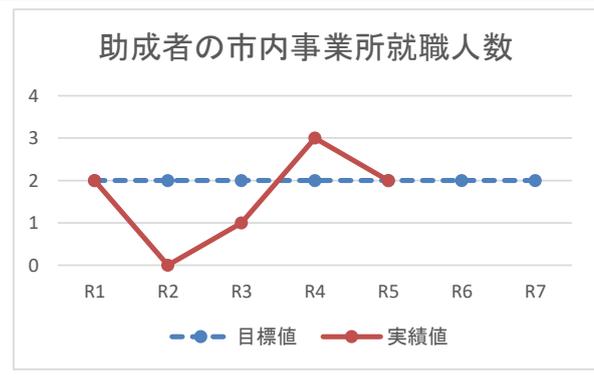
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	100	100	74						
	国補助	千円									
	県補助	千円	75	75	55						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	25	25	19						
	人工数	人		0.1							
	人件費	千円		766							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
介護職員初任者研修を修了した者に対し研修受講費用の一部補助を実施	補助金額	千円	100	100	100	100
			88	74		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市内事業所の介護人材不足解消	助成者の市内事業所就職人数	人	2	2	2	2
			3	2		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	1	1	福祉・介護人材確保対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	07	福祉・介護人材確保対策事業

整理番号
203010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・市公式ウェブサイトにおいて制度周知を行い、2名に対し助成を行った。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・制度利用者が増加傾向にあることから、今後は予算の増額も検討していく必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・介護サービス事業者と連携を密にし、制度周知を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p><b>A</b></p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>助成者の市内事業所への就職人数は目標値を達成しており、安定した介護サービスの供給に一定の成果があったと認められる。引き続き、適正な助成にを行うとともに、効果的な周知方法についても検討していただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	1	1	高齢者福祉	高齢者福祉の充実
実施計画事業名					
<b>介護基盤等整備促進事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	08	介護基盤等整備促進事業	
担当課・係等					
高齢者支援課 管理係・介護給付係					

実施計画整理番号	
203010102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	高齢者が住み慣れた地域で安全に継続して生活していくことができるよう、地域密着型介護老人福祉施設の整備や防災補強改修等を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人福祉施設等の整備</li> <li>・防災補強改修</li> <li>・老朽化に伴う修繕</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	施設の新規整備及び防災補強改修等を実施する事業者に対し一部補助を行うことにより、必要とする介護施設の利用定員を確保し、施策「高齢者福祉の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,380	10,210	0						
	国補助	千円									
	県補助	千円	2,380	10,210	0						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円									
	人工数	人	0.4								
	人件費	千円	3,065								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
対象事業者に対し一部補助を実施する。			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値			
			実績値			
活動指標の動向			成果指標の動向			

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	1	1	介護基盤等整備促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	08	介護基盤等整備促進事業

整理番号
203010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・市内事業者に対し補助を計画したが、事業者都合により未実施となった。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
D: 実施していない・実施できなかった		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・今後も高齢化が進んでいくことから、引き続き必要な介護ニーズの把握に努めていく必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・新規施設整備については、給費実績等から必要なサービスを見込み、介護保険事業計画に反映させる。                      ・防災改修等については、引き続き国県の動向に注視し、必要に応じ事業所に周知していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当                      B: 事業改善の検討が必要                      C: 事業の休止・廃止の検討が必要                      D: 事業終了が適当</p>	<p>市内事業者への補助は高齢者福祉の充実に効果があると見込まれるため、引き続き適正な補助及び周知に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	2	1	高齢者福祉	高齢者の社会参加の促進
実施計画事業名					
<b>高齢者在宅生活支援事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	03	高齢者在宅生活支援事業	
担当課・係等					
高齢者支援課 管理係					

実施計画整理番号	
203020101	
総合戦略整理番号	

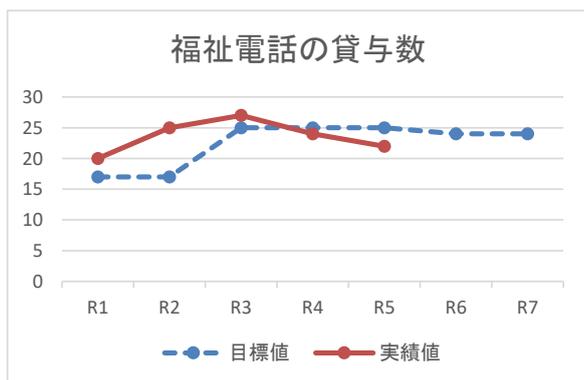
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
<p>日常生活を営む上で支障のある高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう、電話設置による安否の確認、各種の相談を行うとともに、関係機関の協力を得て、各種のサービスを提供し、もって高齢者の福祉向上に寄与することを目的とする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話の設置</li> <li>・高齢者短期宿泊、生活援助事業の実施</li> <li>・リサイクルベッドの貸出</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	事業を実施することで、高齢者の在宅福祉支援を図り、ひいては施策「高齢者の社会参加の促進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,133	1,133	522						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	57	57							
	一般財源	千円	1,076	1,076	522						
	人工数	人		0.15							
	人件費	千円		753							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
電話設置による安否の確認、各種の相談を行うとともに、関係機関の協力を得て、各種のサービスを提供する。	福祉電話の貸与数	台	目標値	25	25	24	24
			実績値	24	22		
			目標値				
			実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
高齢者の在宅福祉支援を実施することにより、自立した日常生活を営むことができるようにする。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	2	1	高齢者在宅生活支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	03	高齢者在宅生活支援事業

整理番号
203020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話の設置を22人に対し実施した。</li> <li>・リサイクルベッドの貸出しを4人に対し実施した。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話事業については、一定数の利用者があることから引き続き継続していく必要がある。</li> <li>・高齢者短期宿泊、生活援助事業は必要とする対象者が年度により異なるが制度上必要である。</li> <li>・リサイクルベッドの貸出しについては、介護保険サービス内に同様のサービスがある。</li> </ul>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	C: 事業の休止・廃止の検討が必要	⑥その他
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉電話の貸与については、今後も必要数を把握しながら適切に実施していく。</li> <li>・在宅介護機器リサイクル事業については、ベッドの利用終了後は順次廃棄し、事業廃止の方向で検討する。</li> </ul>	
	企画政策課の評価	評価理由
C	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当	
高齢者に対する各種支援を行ったことにより、高齢者福祉の向上に一定の成果があったと認められる。今後需要に基づいた各補助の必要性について精査し、事業廃止の方向で検討していただきたい。		

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	2	1	高齢者福祉	高齢者の社会参加の促進
実施計画事業名					
生きがい対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	04	生きがい対策事業	
担当課・係等					
高齢者支援課 管理係					

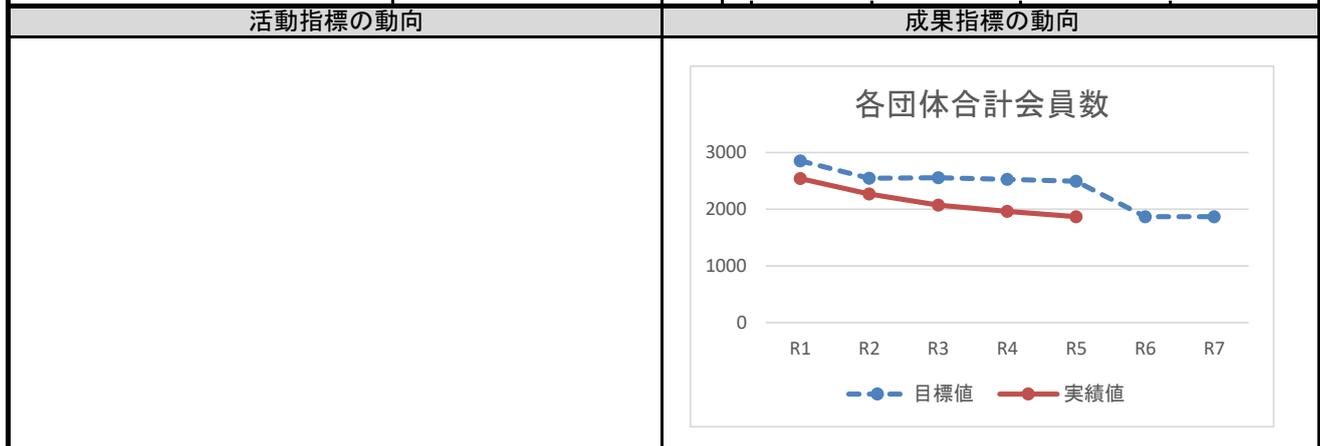
実施計画整理番号	
203020102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	高齢者の能力を生かした就業機会の提供や社会参加を促し、心身の健康保持及び地域社会における社会福祉の増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯大学校用地の借上</li> <li>・長寿クラブへの補助金交付</li> <li>・シルバー人材センターへの補助金交付</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

高齢者の能力を活かした就業機会の提供や社会参加を促すとともに、心身の健康保持及び地域社会における福祉の増進を図ることで、施策「高齢者の社会参加の促進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	5,964	5,964	5,876						
	国補助	千円									
	県補助	千円	891	891	982						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,073	5,073	4,894						
	人工数	人	0.4								
	人件費	千円	3,065								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
対象団体に対し適切に補助金を交付することで高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図る。		目標値					
			実績値				
		目標値					
			実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
生きがいの場を提供することで、心身の健康保持及び地域社会における福祉の増進を図る。	生涯大学校、長寿クラブ、シルバー人材センター 合計会員数	人	目標値	2,525	2,495	1,869	1,869
			実績値	1,961	1,869		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	2	1	生きがい対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	04	生きがい対策事業

整理番号
203020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	高齢者の心身の健康保持及び地域社会における福祉の増進に寄与した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
各団体とも、コロナの5類移行に伴い会員数の減少傾向は解消しつつある。会員増加に向けた施策が今後の課題である。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・高齢者のこのような活動は、健康寿命の延伸である「介護予防・認知症予防」の一翼をになっており、高齢者のこうした社会活動は「地域包括ケアシステム」における重要な地域資源である。市としても会員募集の広報活動等を積極的に行うなど、会員数の増加に繋がるよう各実施主体と協議・連携し支援に努める。			
企画政策課の評価		評価理由		
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当		各団体への適正な補助金の交付により、地域福祉の向上に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な補助を行うとともに、会員数の増加に繋がる効果的な施策の検討に努めていただきたい。		

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	3	2	1	高齢者福祉	高齢者の社会参加の促進
実施計画事業名					
<b>敬老事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	04	01	敬老事業	
担当課・係等					
高齢者支援課 管理係					

実施計画整理番号	
203020103	
総合戦略 整理番号	

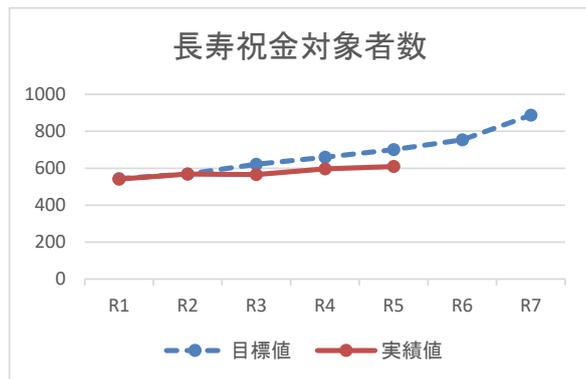
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
高齢者(88歳、99歳、100歳以上)を祝福するとともに、敬老の意を表し、福祉の増進を図る。	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	高齢者人口の増加に伴い、地域で助け合う体制づくりや生きがいを持って暮らせる地域づくりが重要となっている。長寿の節目を迎える対象者に長寿祝金を贈呈することで高齢者に対する敬老思想の高揚を図り、施策「高齢者の社会参加の促進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,355	3,355	2,622						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,355	3,355	2,622						
	人工数	人	0.35								
	人件費	千円	2,175								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
対象者を適切に把握し、配布を実施するとともに実態把握を行う。	長寿祝金対象者数	人	目標値	659	701	753	887
			実績値	597	609		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
長寿者を祝福することで、市民の敬老思想の高揚を図る。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	3	2	1	敬老事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	04	01	敬老事業

整理番号
203020103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・長寿祝金を贈呈し、敬老思想の高揚が図られた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
<p><b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b></p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・今後、高齢者人口の増加が見込まれるなかで事業費の増大が懸念される。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>急速な高齢化が進み、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう地域で助け合う体制づくりがより一層重要となる中で、長寿祝金の支給は、敬老思想の高揚、高齢者の安否確認に寄与し、福祉の増進が図られている。しかしながら、今後も高齢者人口の増加が見込まれており、これに伴い事業費も増大することから、事業の見直しも含め検討していく必要がある。</p>			
	企画政策課の評価		評価理由	
<p><b>B</b></p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>		<p>長寿祝金に贈呈により敬老思想の高揚に一定の成果があったと認められるが、高齢化による事業費の増が見込まれることから、事業費や事業の継続を含めた事業の見直しを検討していただきたい。</p>		

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	1	2	障害者福祉	障害者福祉の充実
実施計画事業名					
重度心身障害者医療費助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	09	重度心身障害者医療費助成事業	
担当課・係等					
障害福祉課 支援給付係					

実施計画整理番号	
204010201	
総合戦略整理番号	

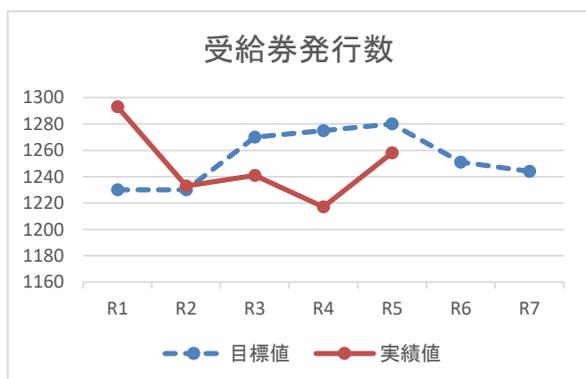
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>重度心身障害者の疾病にかかる医療負担の軽減を図り、健康の保持や生活の安定確保等、福祉の増進を目的とする。</p>	<p>医療費から保険給付の額を控除した額について、その費用の全部、または一部を助成する。 自己負担額は、通院1回・入院1日につき300円、ただし調剤代は無料とする。市民税所得割非課税世帯は、0円。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

重度心身障害者の疾病にかかる医療費を助成し、経済的負担を軽減することで健康保持や生活の安定確保等につなげ、施策「障害福祉の充実」に寄与する。

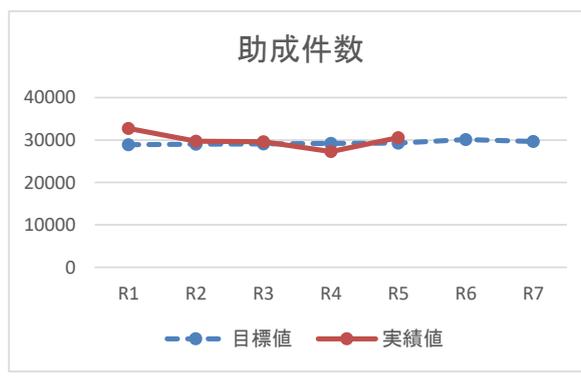
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	146,754	146,754	144,714						
	国補助	千円									
	県補助	千円	73,377	73,377	72,357						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	73,377	73,377	72,357						
	人工数	人	1.16								
	人件費	千円	7,658								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
重度心身障害者の疾病にかかる医療費から保険給付の額を控除した額について、その費用の全部または一部を助成する。	受給券発行数	件	1,275	1,280	1,251	1,244
		実績値	1,217	1,258		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		件	29,200	29,300	30,114	29,675
		実績値	27,282	30,553		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	1	2	重度心身障害者医療費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	09	重度心身障害者医療費助成事業

整理番号
204010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・重度心身障害者の疾病にかかる医療費から保険給付の額を控除した額について、その費用の全部または一部を助成した。
- ・重度心身障害者の医療費負担の軽減を図った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・重度心身障害者の疾病にかかる医療費負担の軽減に効果があった。
- ・医療費負担の軽減を図ったことにより、重度心身障害者の健康保持や生活の安定確保等に繋がった。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・引き続き、重度心身障害者の疾病にかかる医療費を助成し、経済的負担を軽減する。
- ・引き続き、重度心身障害者の健康保持や生活の安定確保等を図っていく。

企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>重度心身障害者へ医療費を助成することにより、障害福祉の増進に一定の成果があったと認められる。引き続き遅滞なく申請の受領、助成に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	1	2	障害者福祉	障害者福祉の充実
実施計画事業名					
<b>障害者グループホーム等入居者家賃補助事業</b>					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	12	障害者グループホーム等入居者家賃補助事業	
担当課・係等					
障害福祉課 支援給付係					

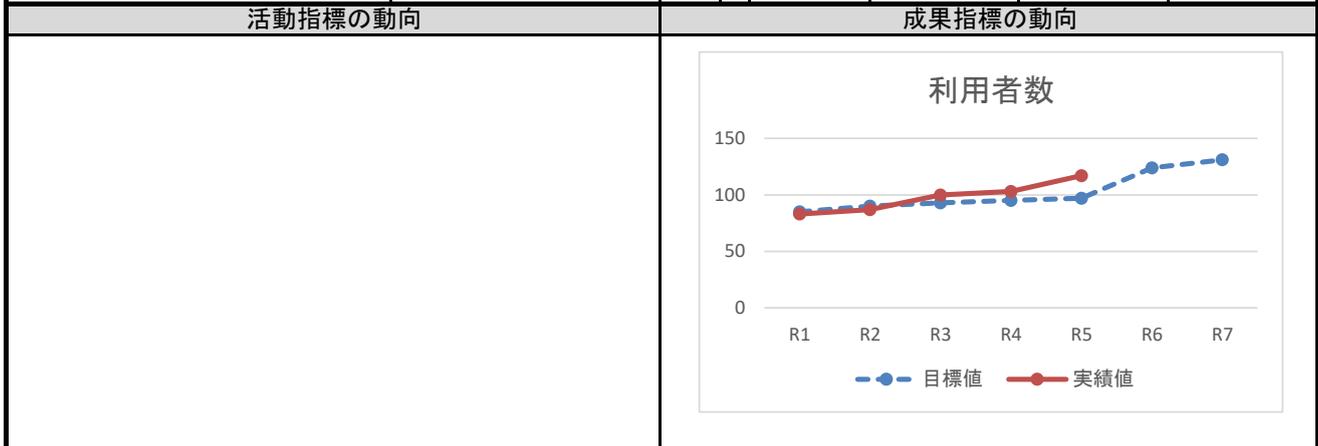
実施計画整理番号	
204010202	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>当該年度において、市町村民税非課税世帯に属する者で、生活保護法による保護を受けていないグループホーム及び生活ホーム入居者の、経済的負担を軽減することで生活の安定を図り、地域生活への移行を促進する。</p>	<p>グループホーム及び生活ホーム入居者に対し、家賃の一部を助成する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

グループホーム等の入居者に対し、家賃の一部を助成することで生活の安定化を図り、地域生活への移行を促進することで、施策「障害者福祉の充実」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	9,800	10,456	10,346					
国補助		千円									
県補助		千円	4,900	5,228	5,173						
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	4,900	5,228	5,173						
人工数	人		0.06								
人件費	千円		460								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市町村民税が非課税で、かつ生活保護を受けていないグループホーム等の入居者の生活の安定を図るため、申請に基づき適正な額の助成を行う。	適正な助成額の算定	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		利用者数	人	95	97	124
グループホーム等の入居者の家賃助成を行うことで、対象者の経済的負担を軽減し、ひいては社会的な自立と地域生活への移行を促進する。	利用者数	人	103	117		



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	1	2	障害者グループホーム等入居者家賃補助事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	12	障害者グループホーム等入居者家賃補助事業

整理番号
204010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>主たる収入が障害基礎年金で、生活保護の受給もない特に収入の少ない障害者グループホーム等の入居者に対し家賃の一部を助成し、経済的負担を軽減することで、生活の安定を図り社会的な自立と地域生活への移行を促進することができた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
<b>A: 必要性が高い</b>	<b>A: 有効性が高い</b>	<b>A: 効率性が高い</b>
総合評価		
<b>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</b>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請に基づき、適正に家賃助成を行った。</li> <li>・グループホーム等の地域社会で共同生活を送る場合は年々増加しているため、収入の少ない入居者の家賃の一部を助成することで、経済的負担を軽減し生活の安定化を図る本制度は、障害者の社会的自立と地域生活への移行を促す上で有意義である。</li> </ul>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
<b>A: 計画どおり事業を進めることが適当</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム等に対して、制度の周知に努める。</li> <li>・申請に基づき対象者ごとに適正な助成額の算定を行う。</li> </ul>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul> <p>入居者への家賃補助により経済的負担の減少に繋がり、障害者福祉の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な補助を行うとともに、効果的な周知方法の検討に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	1	2	障害者福祉	障害者福祉の充実
実施計画事業名					
心身障害者施設等運営補助事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	08	心身障害者施設等運営補助事業	
担当課・係等					
障害福祉課 支援給付係					

実施計画整理番号	
204010203	
総合戦略整理番号	

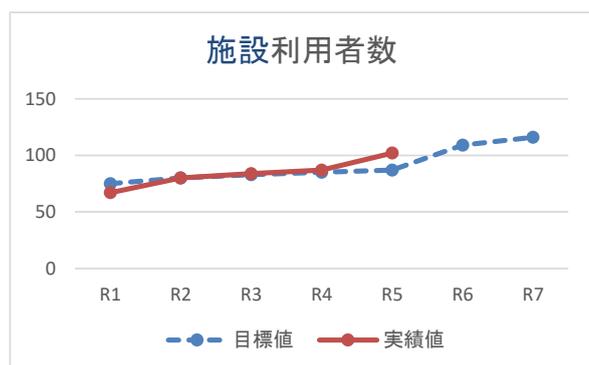
事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>家庭での生活が困難な障害者に居住の場を提供する知的障害者生活ホームと障害者グループホームに対し、運営費の一部を補助することで、障害者の地域生活への移行と社会参加の促進を図る。</p>	<p>知的障害者生活ホーム、グループホームへ運営費の一部を助成する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>障害者の居住の場となる事業所の運営の安定を図ることで、更なる地域移行及び社会参加を促進し、施策「障害者福祉の充実」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	18,990	19,805	19,564						
	国補助	千円									
	県補助	千円	9,495	9,903	9,782						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	9,495	9,903	9,782						
	人工数	人	0.06								
	人件費	千円	460								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
障害者の居住の場となる事業所の運営の安定を図ることで、更なる地域移行及び社会参加を促進するため、申請に基づき適正な額の助成を行う。	適正な助成額の算定	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		人	85	87	109	116
知的障害者生活ホーム、グループホームへ運営費を助成することにより、運営の安定を図り、障害者の自立と地域生活への移行を促進する。	施設利用者数	目標値	85	87	109	116
		実績値	87	102		

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	1	2	心身障害者施設等運営補助事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	08	心身障害者施設等運営補助事業

整理番号
204010203

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

自宅での生活が困難な障害のある方に居住の場を提供する知的障害者生活ホームと障害者グループホームに対し、運営費の一部を助成することで、障害のある方の地域生活への移行と社会参加の促進を図った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・申請に基づき、適正に運営費の助成を行った。
- ・グループホームは年々増加しており、費用の一部を助成し運営の安定化を図ることは、障害のある方の地域生活への移行と社会参加を促すうえで有意義である。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・グループホーム等に制度の周知に努める。
- ・申請に基づき対象者ごとに適正な助成額の算定を行う。

企画政策課の評価	評価理由
<p><b>A</b></p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当                      B: 事業改善の検討が必要                      C: 事業の休止・廃止の検討が必要                      D: 事業終了が適当</p>	<p>グループホーム等への運営費補助により運営の安定化に繋がり、障害者福祉の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な補助を行うとともに、効果的な周知方法の検討に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	4	2	2	障害者福祉	障害者の社会参加の促進
実施計画事業名					
社会参加促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	16	社会参加促進事業	
担当課・係等					
障害福祉課 障害福祉係					

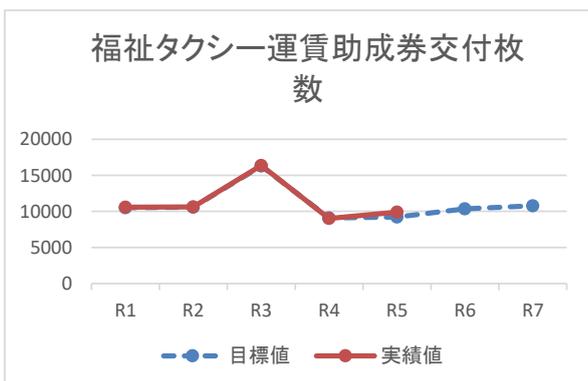
実施計画整理番号	
204020201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>重度心身障害者が、タクシーやリフト付福祉カーを利用し、通院、買い物、会合等に外出しやすいうようにし、社会参加の援助を図る。</p>	<p>・タクシー運賃を助成する。(1名につき1,000円の助成券を年間最大36枚交付する。)</p> <p>・リフト付福祉カーを貸し出す。(原則3日以内)</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>重度心身障害者等に対し、福祉タクシーの運賃助成及びリフト付福祉カーを貸し出すことで、通院、買い物、会合等の外出を促し社会参加につなげ、施策「障害者の社会参加の促進」に寄与する。</p>	

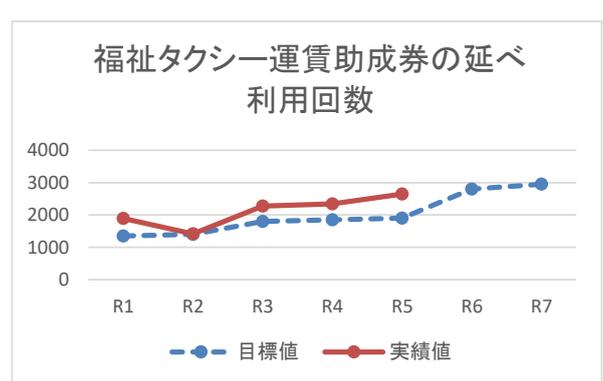
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	4,254	4,274	4,206						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,254	4,274	4,206						
	人工数	人	0.67								
	人件費	千円	4,737								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
・タクシー運賃を助成する。(1名につき1,000円の助成券を年間最大36枚交付する。) ・リフト付福祉カーを貸し出す。(原則3日以内)	福祉タクシー運賃助成券交付枚数	枚	9,100	9,200	10,347	10,789
		枚	9,021	9,905		
	リフト付福祉カーの貸出件数	件	49	51	45	49
		件	40	41		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
通院、買い物、会合等の外出を援助することで社会参加につなげる。	福祉タクシー運賃助成券の延べ利用回数	回	1,850	1,900	2,798	2,950
		回	2,342	2,646		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	4	2	2	社会参加促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	16	社会参加促進事業

整理番号
204020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・タクシー運賃(1,000円の助成券を年間最大36枚交付)の助成及びリフト付福祉カーの貸し出しを行うことにより、重度心身障害者等の外出を援助し社会参加につなげた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・重度心身障害者が利用したタクシー運賃を助成し、外出しやすいよう援助することができた。                  ・重度心身障害者等にリフト付福祉カーを貸し出すことで、社会参加へ一定の効果があった。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、重度心身障害者等の外出による社会参加に寄与するため、適切な援助を行う。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当                  B: 事業改善の検討が必要                  C: 事業の休止・廃止の検討が必要                  D: 事業終了が適当</p> <p>福祉タクシー運賃助成券の利用回数は増加しており、障害者の社会参加の促進に一定の成果があったと認められる。引き続き、適正な援助を行うとともに、その周知に努めていただきたい。</p>	

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	1	1	保健医療	健康づくりの推進
実施計画事業名					
健康づくり推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	02	健康づくり推進事業	
担当課・係等					
健康管理課 健康指導係					

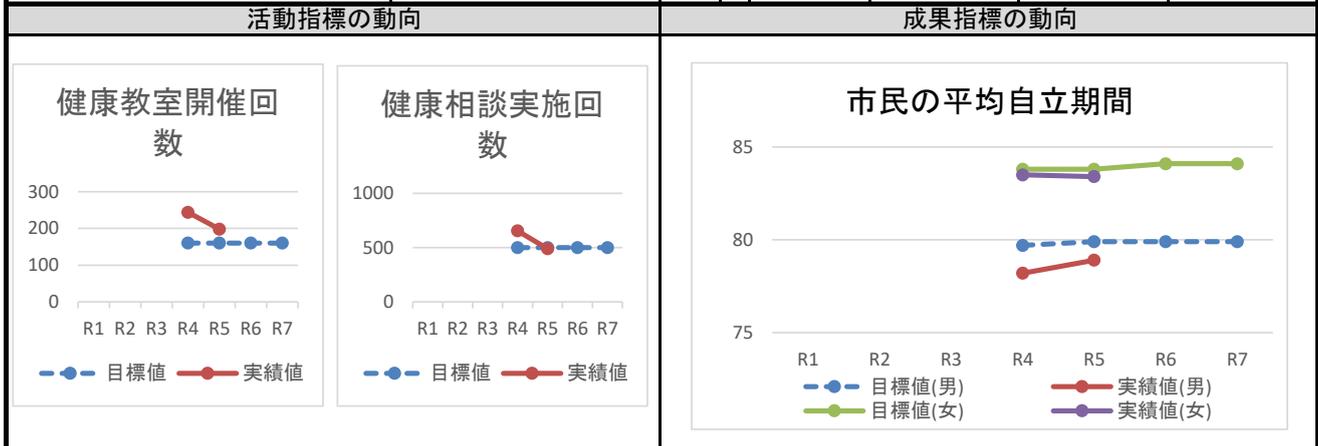
実施計画整理番号	
205010101	
総合戦略整理番号	

PLANN	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	健康増進計画の下、全ての年代、様々な健康状態の市民への健康知識の普及啓発等を行うことにより、いきいきと暮らすための健康づくりを多方面から支援し、要介護状態になることを予防し、健康寿命の延伸につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茂原市健康づくり推進協議会を設置し、活動する。</li> <li>・健康的で明るい生活ができるよう保健師・歯科衛生士・栄養士等が必要な指導・助言を行う。</li> <li>・生活習慣病予防を中心に、運動・食生活等市民の健康保持、増進が図れるよう支援する。</li> <li>・ドナーとなった者及びドナー休暇を取得させた国内事業所に対し、助成金を支給する。</li> <li>・自殺に至る背景の理解の促進や、危機に陥った場合の援助希求力を高めるため、市民や職員向けの講座を開催する。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

市民ぐるみの健康づくりとして、がん、脳血管疾患、心臓病などの起因となる生活習慣病の予防のため、関連団体と協働での健康教育の開催や、相談体制の充実を図ることで施策「健康づくりの推進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,749	2,749	2,339						
	国補助	千円									
	県補助	千円	582	582	400						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,167	2,167	1,939						
	人工数	人	3.95								
	人件費	千円	30,265								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
茂原市健康増進計画に基づき、市民の健康づくりのため健康教育、健康相談、地区組織活動の推進を行う。	健康教室開催回数	回	160	160	160	160
		実績値	244	198		
	健康相談実施回数	回	500	500	500	500
		実績値	654	490		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民の健康への意識が向上し、健康寿命の延伸につながる。	市民の平均自立期間(介護なしで自立して生活できる期間)	年	男79.7 女83.8	男79.9 女84.1	男79.9 女84.1	男79.9 女84.1
		実績値	男78.2 女83.5	男78.9 女83.4		



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	1	1	健康づくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	02	健康づくり推進事業

整理番号
205010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・茂原市健康生活推進委員会は、3年任期の1年目で新メンバーが参入。計10回の普及活動では、ウォーキング教室や運動教室等、運動に関する活動や、減塩や糖尿病予防を視野に入れた料理教室、食事に関する講話等、栄養に関する活動を実施できた。この他にも市内スーパーとの協働で、塩分測定会や今夜のおかずのレシピ配布が実施できた。</p> <p>・骨髄移植ドナー助成については、1件実績あり。</p> <p>・自殺対策に関する事業として、新規採用職員向けのメンタルヘルス研修(1回)や、市職員向けのゲートキーパー養成講座(2回)を実施した。自分自身や周囲の同僚のメンタルヘルスに目を向けることをはじめ、窓口に来た市民等への対応の中に自殺予防の観点を取り入れることに務めるよう、知識の普及啓発を図れた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
	総合評価		
<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・全世代を対象とした健康教育や健康相談の実施については、広報等で周知しており、市民に浸透していると思われるが、働く世代に対する支援については、市内の事業所等との連携も必要である。</p> <p>・茂原市健康生活推進員については、3年任期の1年目であるが、中央研修等にて市と協働して活動をするノウハウを習得し、今後更なる活動について検討中。</p> <p>・小中学校を主とした思春期教育に関しては、依頼数が年々増加しており、内容も充実してきている。がん予防教育については、小中学校のみならず、高校生への教育方法についても、検討を要する。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>③連携・協働の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・健康教育、健康相談については、ITを活用する等、市民にとって利用しやすい方法を検討する。</p> <p>・茂原市健康生活推進員については3年任期の2年目となるため、地域活動の範囲を更に広げて実施するために市が協力、支援をする。</p> <p>・思春期保健教育については、来年度より母子保健部署が福祉部に異動となるため、引き続き協働した形で継続をする。その中で、がん予防教育に関しては、高校に対する周知を検討する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
<b>B</b>	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>健康教室・健康相談を実施することで、市民の健康意識向上に一定の成果があったと認められる。引き続き各活動を遅滞なく実施するとともに、時代に即したより効率的な周知及び実施方法の検討に努めていきたい。</p>	

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	2	1	保健医療	成人保健事業の充実
実施計画事業名					
健康診査事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	01	健康診査事業	
担当課・係等					
健康管理課 健康指導係					

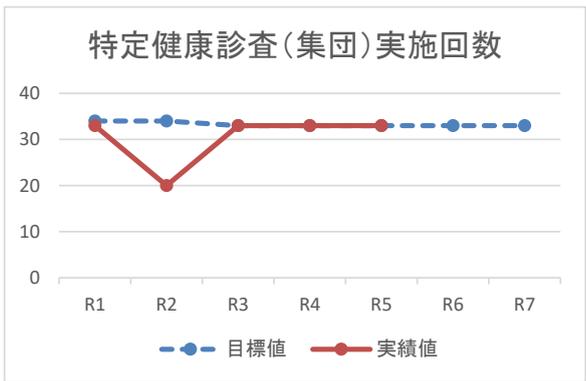
実施計画整理番号	
205020101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民を対象に、生活習慣の改善並びにがん等疾病の早期発見及び早期治療につなげ、市民の健康寿命の延伸を図る。	健康増進法に基づき、各種健(検)診を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民の利便性に配慮した受診機会の拡大や受診率の向上に努め、継続的な健(検)診や受診の習慣化を図ることにより、施策「成人保健事業の充実」に寄与する。	

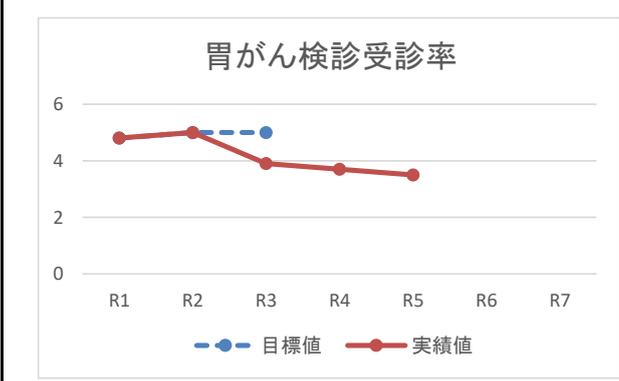
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	89,323	89,328	83,604						
	国補助	千円	546	546	591						
	県補助	千円	9,155	9,155	8,502						
	市債	千円									
	その他	千円	9,236	9,236	8,688						
	一般財源	千円	70,386	70,391	65,823						
	人工数	人		10.35							
	人件費	千円		65,834							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各種健(検)診を実施する。	特定健康診査(集団)実施回数	回	33	33	33	33
		実績値	33	33		
	胃がん検診実施回数	回	10	10	9	9
		実績値	10	9		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
がん等疾病の早期発見及び早期治療につなげ、市民の健康寿命の延伸を図る。	胃がん検診受診率	%	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	3.7	3.5		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	2	1	健康診査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	01	健康診査事業

整理番号
205020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・健康診査33回、肝炎ウイルス検診33回、肺がん検診9回、胃がん検診9回、胃ピロリ菌検査33回、大腸がん検診10回、子宮頸がん検診10回、乳がん検診26回、前立腺がん検診33回、口腔がん検診1回、骨粗しょう症予防検診2回、結核検診9回をそれぞれ集団健(検)診にて実施した。健康診査及び一部の検診については、個別健(検)診も実施した。</p> <p>・いずれの健(検)診についても、目標とした回数を実施することができ、受診者にとって疾病の早期発見及び早期治療につなげることができた。</p> <p>・指針等に基づく適正な健(検)診の実施に努め、関係機関の協力により精度を高めることができた。</p> <p>・対策型がん検診の受診者数及び受診率については、肺がん検診6,165人(10.4%)、胃がん検診2,089人(3.5%)、大腸がん検診4,252人(7.2%)、子宮頸がん検診4,959人(13.0%)、乳がん検診6,521人(18.8%)である。</p> <p>・精密検査受診率については、肺がん89.4%、胃がん89.4%、大腸がん84.3%、子宮頸がん90.9%、乳がん95.2%である。</p> <p>(令和6年3月末時点)</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>・コロナ禍での経験を踏まえ、適切な感染症対策を講じながら、より多くの受診機会を提供できるよう各種健(検)診を実施したものの、受診者数及び受診率は前年度と同等又は微減となった。</p> <p>・情勢に応じた感染症対策を継続しつつ、様々な形で情報提供や啓発を行い、市民の健康意識の向上に努める必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き感染症をめぐる情勢の変化に応じた対策を講じて受診機会を確保するとともに、関係機関との連携の強化を図り、健(検)診の対象となる市民に適切な情報提供や啓発を行うことで受診者数及び受診率の向上につなげ、国の目標値到達とともに市民の健康意識の向上に努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	A	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>各種健(検)診の実施により、市民の健康意識の向上ひいては健康寿命の延伸に一定の成果があったと認められる。引き続き受診機会の確保に努めるとともに、受診率向上のための、時代に即した効果的な施策の検討に努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	2	1	保健医療	成人保健事業の充実
実施計画事業名					
歯科健診事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	03	歯科健診事業	
担当課・係等					
健康管理課 保健センター					

実施計画整理番号	
205020102	
総合戦略 整理番号	

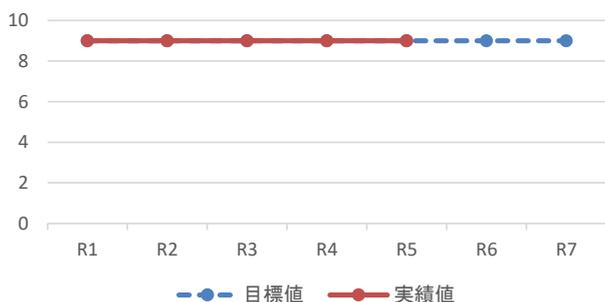
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	妊娠期から高齢期までの全市民に対し、生涯自分の歯で食事ができる生活を目指せるよう「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進するとともに、市民のQOL(生活の質)の向上を図る。	妊娠期から高齢期までのライフサイクルに応じた歯科健診および歯科保健事業を実施する。併せて茂原市長生郡歯科医師会の協力により、在宅寝たきり者等歯科保健事業を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	歯科健診を実施し疾病を早期発見し、早期治療につなげる。また歯科健康教育を行い、歯科疾患予防に関する知識の普及を図り、施策「成人保健事業の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,648	1,648	1,435						
	国補助	千円			527						
	県補助	千円	1,239	1,239							
	市債	千円									
	その他	千円		75	56						
	一般財源	千円	409	334	852						
	人工数	人		1.1							
	人件費	千円		8,428							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
歯科健診を実施するとともに幼児期からむし歯予防のためにフッ化物応用による歯質強化を図る。	歯科健診実施回数	回	9	9	9	9
		目標値	9	9		
成果	成果指標	単位	0.6以下	0.6以下	0.3以下	0.3以下
		本	0.59	0.40		

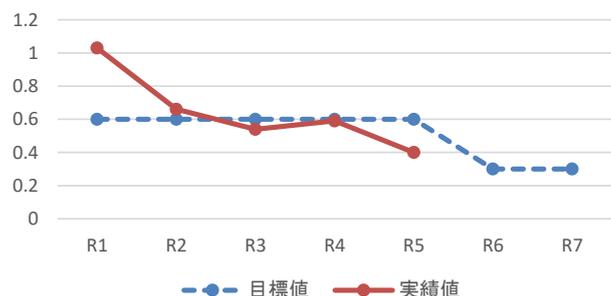
活動指標の動向

歯科健診実施回数



成果指標の動向

12歳児一人平均むし歯数



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	2	1	歯科健診事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	03	歯科健診事業

整理番号
205020102

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・2歳児歯科健診：6回
- ・歯周病検診：3回実施
- ・フッ化物洗口実施施設：21施設
- ・フッ化物塗布実施回数：30回
- ・在宅寝たきり者等歯科保健事業：1件

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

**B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)**

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・各歯科健診、健康教育については、対象者のライフステージごとに内容を工夫しながら実施できた。
- ・歯周病検診については、SNSなどを利用し周知しているが、受診者は減少傾向である。

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・事業内容を見直し、対象者のニーズや本市の歯科疾患に関する課題を考慮した内容を検討する。
- ・歯周病検診については、対象者拡大を検討し、SNS等を活用した周知・情報発信を行うなど、受診率向上を図る。

企画政策課の評価	評価理由
<b>B</b>	各歯科健診、健康教育の実施により、歯科疾患予防に一定の成果があったと認められる。引き続き各施策を遅滞なく行うとともに、効果的な周知及び事業内容見直しの検討に努めていただきたい。

A: 計画どおり事業継続が  
適当  
B: 事業改善の検討が必要  
C: 事業の休止・廃止の検  
討が必要  
D: 事業終了が適当

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	5	2	3	保健医療	成人保健事業の充実
実施計画事業名					
予防接種事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	02	01	予防接種事業	
担当課・係等					
健康管理課 予防保健係					

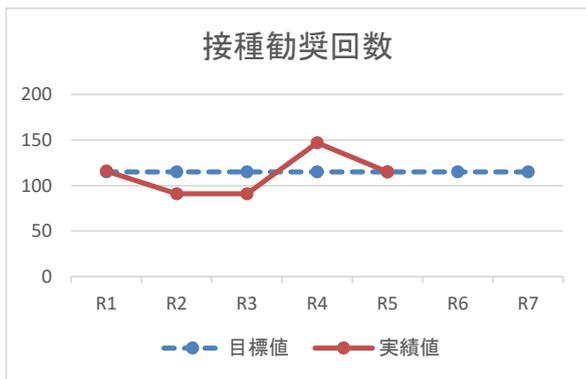
実施計画整理番号	
205020301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>予防接種法に基づく定期接種のA類疾病の対象者及びB類疾病の対象者に感染予防、発病予防、重症化予防及び感染症のまん延防止を図る。</p> <p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>感染症の発生とまん延防止を図るため、予防接種に対する正しい知識の普及、啓発に努める必要がある。予防接種未接種者への接種勧奨や広報などに予防接種の情報を掲載することで、感染症の発生とまん延防止を図り、ひいては施策「総合的な子育て支援の充実」及び「成人保健事業の充実」に寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民への周知(ウェブサイト掲載、広報、受診勧奨含む個別通知等)</li> <li>接種に関する個別相談</li> <li>新たなワクチンの定期接種化やワクチン不足等に対し、県や地区医師会と協議のうえ、安全に滞りなく接種が可能な接種体制の構築を図る。</li> </ul>

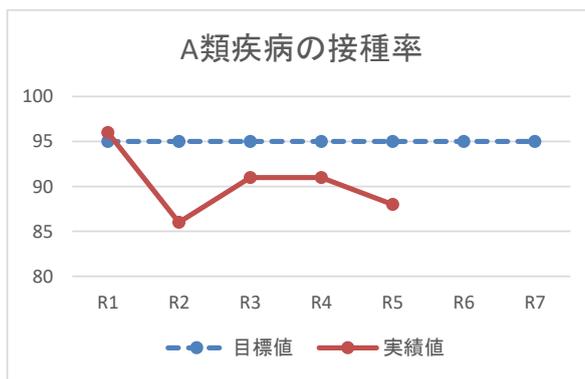
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	266,554	243,856	218,011						
	国補助	千円	2,979	2,979	2,880						
	県補助	千円	25	25	100						
	市債	千円									
	その他	千円	3	3	3						
	一般財源	千円	263,547	240,849	215,028						
	人工数	人	3.8								
	人件費	千円	22,370								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
定期予防接種に関する住民への周知や接種に関する相談を実施するとともに、適切な接種体制の構築を図る。	接種勧奨回数	回	115	115	115	115
		実績値	147	115		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
予防接種法に基づく対象者の感染予防、発病予防、重症化予防及び感染症のまん延防止ができる。	A類疾病(小児定期予防接種)の接種率	%	95	95	95	95
		実績値	91	88		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	5	2	3	予防接種事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	02	01	予防接種事業

整理番号
205020301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・1歳6か月児健診や3歳児健診の会場で個別に予防接種履歴を母子手帳で確認し、看護師や保健師が接種に関するアドバイスを行った。</p> <p>・予防接種の予診票については、1歳未満で接種するものは出生時に手渡し、その後に接種するものは対象年齢が近付いた際に郵送している。</p> <p>・未接種者へは、接種勧奨はがきを通知している。</p> <p>・LINEなどSNSを活用した情報発信を行った(インフルエンザ注意報、子ども予防接種週間など)。</p> <p>・HPVワクチン接種については、令和4年度から約9年ぶりに積極的な勧奨が再開となり、令和5年度からは新しいワクチン「シルガード9」が追加されたことから、対象者には個別にお知らせを通知したが、接種率は低い状況となっている。</p> <p>【令和5年度の接種回数】 ①定期接種延べ385回(接種率41.7%) ①キャッチアップ延べ571回(接種率6.6%)</p> <p>・B類疾病(高齢者肺炎球菌・高齢者インフルエンザ)については、対象者には個別にお知らせを通知するとともに、市公式ウェブサイトや広報紙でも周知を行い、情報提供に努めた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>(A類疾病)</p> <p>・HPVワクチン接種については、個別通知などを行い情報提供に努めたが、接種期間が空いたことによる保護者などのワクチンへの関心の低さ、また、副反応に不安を感じて接種を見合わせていることなどが接種率の低い要因として考えられる。</p> <p>(B類疾病)</p> <p>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種については、定期接種の一部及び任意接種が令和5年度で終了となることから、広報紙や市公式ウェブサイトにて幅広く周知を行うほか、定期接種対象の未接種者には4月に個別通知を行い、9月末には定期・任意接種対象の未接種者にインフルエンザ予防接種の通知にお知らせを同封するなど複数回の接種勧奨に努めた結果、問い合わせが増え、対象者を接種につなげることができた。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・HPVワクチン接種については、ワクチンの効果や副反応など、保護者や接種希望者の不安を解消し、納得して接種に望めるよう情報提供や知識の普及をさらに図り、安心して予防接種ができる体制を整える。また、公費での対象が最終年度となるキャッチアップ対象者については、年度当初の個別通知のほか、夏頃に未接種者への再通知を行い、接種希望者が漏れなく接種することができるよう周知徹底に努める。</p> <p>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種については、令和6年度から定期接種の一部及び任意接種が公費負担ではなくなり、65歳の方のみが対象となる。接種対象者が変更となり、接種期間も1年となることから対象者への個別通知、SNSや市公式ウェブサイトなどを十分に活用し周知を行っていく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>接種勧奨や周知により、接種率の向上に一定の成果があったと認められる。引き続き、接種勧奨に努めると同時に、副反応等に対する不安を解消するためのフォローに努めていただきたい。</p>

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	6	2	2	社会保障	後期高齢者医療制度の適正な運営
実施計画事業名					
後期高齢者医療事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	06	01	後期高齢者医療事業	
担当課・係等					
国保年金課 高齢者医療係					

実施計画整理番号	
206020201	
総合戦略 整理番号	

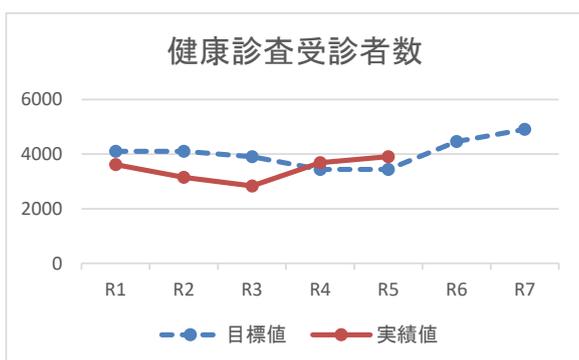
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	後期高齢者医療制度加入者の生活習慣病の早期発見に努め、健康保持増進を図ることを目的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査については、茂原市長生郡医師会等に委託して実施する。</li> <li>短期人間ドックは、契約医療機関で実施した方について、検査費用の助成をする。</li> </ul>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

健康診査の実施及び人間ドック費用の助成により、年々増加している後期高齢者医療制度被保険者の健康寿命の延伸を図るとともに医療費の抑制につなげ、施策「後期高齢者医療制度の適正な運営」に寄与する。

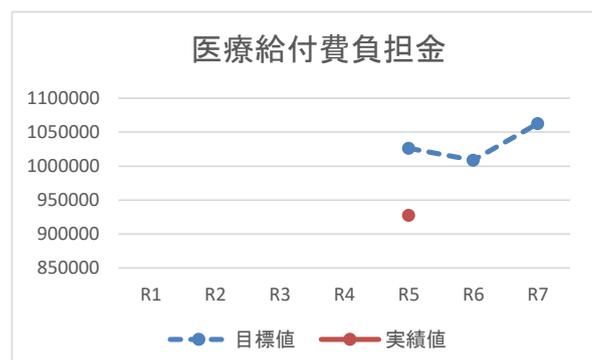
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	57,060	62,814	62,789						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	48,453	48,853	52,554						
	一般財源	千円	8,607	13,961	10,235						
	人工数	人	1.4								
	人件費	千円	10,727								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
健康診査、短期人間ドックを受診することにより、自身の健康に関心を持ち、病気の早期発見、早期治療につながり、長期的に医療費の抑制にもつながっていく。	健康診査受診者数	人	3,440	維持します	4,460	4,906
		実績値	3,685	3,909		
	短期人間ドック受診者数	人		480	500	520
		実績値		473		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
年々増加する被保険者数に対し、健康診査、短期人間ドック受診を促すことにより、医療費総額の1/12を負担する医療給付費負担金の上昇を抑えていく。	医療給付費負担金	千円		1,025,988	1,008,691	1,062,620
		実績値		927,317		

活動指標の動向



成果指標の動向



# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	6	2	2	後期高齢者医療事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	06	01	後期高齢者医療事業

整理番号
206020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報及びSNSでの周知を行うとともに、健診受診対象者全員に受診案内を送付した。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた上で、集団健診における後期高齢者の定員を増やして実施した。</li> <li>・健康診査、短期人間ドックともに受診者数が増加した。</li> </ul>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	<b>B: 必要性が認められる</b>	<b>B: 有効性が認められる</b>	<b>B: 効率性が認められる</b>
	総合評価		
	<b>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</b>		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査、短期人間ドック受診者数の増加の要因としては、被保険者数の増と健康意識の向上が考えられる。また、新型コロナウイルスに関する行動制限が撤廃されたことが受診行動につながったものと考えられる。</li> </ul>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	<b>B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</b>	<b>⑤更なる事業の推進</b>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、集団健診は新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた上で、後期高齢者の受診率の増加を図るとともに、契約医療機関にて実施している個別健診について、さらなる周知に努める。</li> <li>・引き続き、広報やSNSでの周知を行うとともに、健診受診対象者全員に受診案内を送付し、健康診査の普及啓発に努めていく。</li> <li>・令和5年度より始まった高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の中で、健診受診の重要性を周知啓発することで、受診率向上を図る。</li> </ul>	
	企画政策課の評価	評価理由
	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 計画どおり事業継続が適当</li> <li>B: 事業改善の検討が必要</li> <li>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</li> <li>D: 事業終了が適当</li> </ul> 特定健診について受診率の向上が見られたことから、健康寿命の延伸に一定の効果があったと認められる。疾病の早期発見により健全な制度運営に繋がることから、引き続き効果的な受診勧奨に努めていきたい。

# 令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	6	4	1	社会保障	生活困窮者の自立に向けた支援
実施計画事業名					
家計相談支援事業					

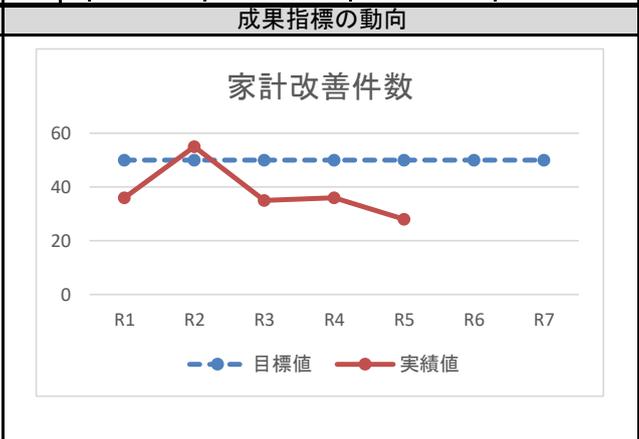
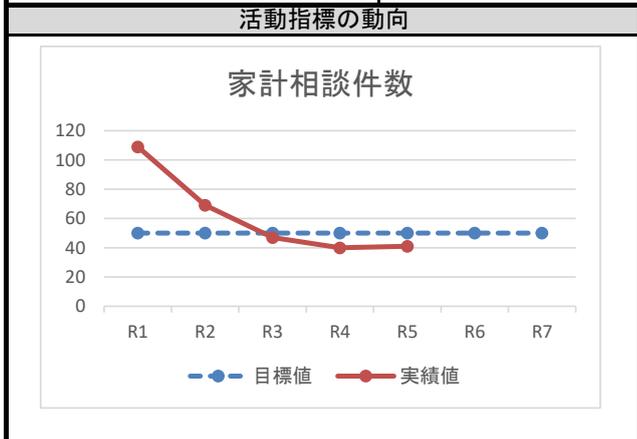
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	01	07	自立相談支援事業	
担当課・係等					
社会福祉課 保護係					

実施計画整理番号	
206040101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	収入よりも生活費が多く、お金が不足しがちで借金に頼ったり支払を滞らざるを得ない人や、生活保護には該当しないが、収入に波があり、家計が苦しい人に対して、家計・その他相談に応じ、収支管理を助言することにより、自立できるようにする。	生活困窮者自立支援法に基づき、「NPO法人長生・夷隅地域のくらしを支える会」を相談窓口とし、対象者に対して家計、その他の相談支援やプラン作成等を実施し自立に向けた支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	生活保護に至る前に世帯の課題と家計の収支を把握し、支出の抑制など収支バランスを整えることで生活困窮状態の改善を図る。これにより施策「生活困窮者の自立に向けた支援」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	5,431	5,431	5,431						
	国補助	千円	2,715	2,715	2,715						
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,716	2,716	2,716						
	人工数	人	0.01								
	人件費	千円	77								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
相談者の債務整理や支出の見直し、収支バランスを整える。	家計相談件数	目標値	50	50	50	50
		実績値	40	50		
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
家計、その他相談に応じ、収支管理の助言を行い、自立できるようにする。	家計改善件数	目標値	50	増加を目指す	増加を目指す	増加を目指す
		実績値	36	25		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	6	4	1	家計相談支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	自立相談支援事業

整理番号
206040101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・収入が減少した世帯に対して貸付を受けられるよう社会福祉協議会への支援申請を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

**B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)**

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

新型コロナウイルス感染症の5類疾病への移行に伴い、感染症の流行時よりも相談は落ち着いてきており、本来の業務の形を取り戻しつつある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

支出の削減や債務整理を行うとともに、相談者自身で収入支出のバランスを整えられるように支援を行うという、従来の事業を主として進めていく。ただし、新型コロナウイルス感染症の流行が再燃する、または福祉資金の返済あるいは返済免除手続きの相談が増加するようであれば、支援方法の再考や担当職員を増やすなどの対応を検討する。

企画政策課の評価	評価理由
<b>A</b>	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>家計相談の実施により生活困窮者の状態改善に一定の成果があったと認められる。引き続き支援を行うとともに、多様な相談に臨機応変に応じられるよう状況の把握に努めていただきたい。</p>